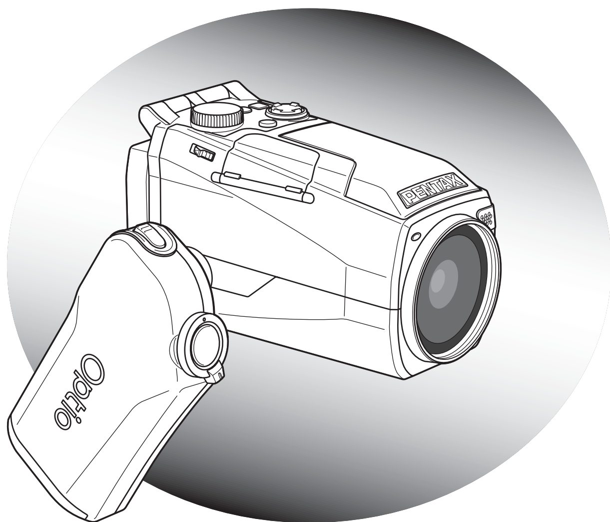
PENTAX®

デジタルカメラ

Optio MX4

使用説明書





カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio MX4をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。

SDロゴは商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。

PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンタとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について



警告

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池およびACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式リチウムイオンバッテリーD-LI7以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

バッテリー充電器とACアダプタについて

注意

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- バッテリー充電器をお使いにならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器で充電式リチウムイオンバッテリーD-LI7以外の電池は充電しないでください。他の電池を充電しようとすると、発熱や、充電器の故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。

- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.19）をご覧ください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

音声の録音・再生 94

静止画／動画の再生・消去 98

静止画の編集・印刷 110

設定 122

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
PICT, P, Tv, Av, M, 🎙, 🎥	タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影／録音モードを表します。 例） P Tv Av M 🎥 **シャープネスを設定する**

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行なってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、このページをご覧ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、4章以降をご覧ください。

4 静止画の撮影

静止画のさまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 動画の撮影

動画のさまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

6 音声の録音・再生

音声だけの録音や画像に音声（ボイスメモ）を追加する方法、音声の再生のしかたを説明しています。

7 静止画／動画の再生・消去

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法、カメラから消去する方法について説明しています。

8 静止画の編集・印刷

撮影した静止画を印刷するためのさまざまな方法や、カメラで編集する方法について説明しています。パソコンを使った印刷や編集の方法については、別冊の『PC活用編 デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむには』を参照してください。

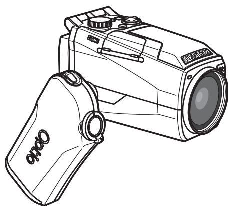
9 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

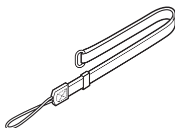
10 付録

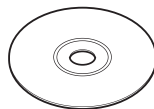
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

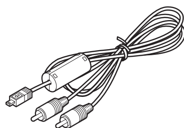
主な同梱品の確認

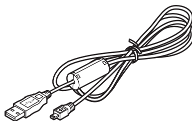


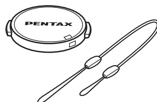
本体
Optio MX4


ストラップ
O-ST17（※）

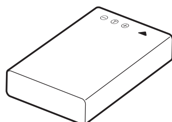

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW23

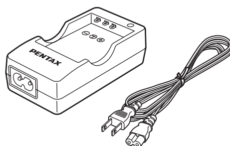

AVケーブル
I-AVC7（※）


USBケーブル
I-USB17（※）



レンズキャップ
キャップホルダー


充電式リチウムイオンバッテリー
D-LI7（※）



バッテリー充電器キット
K-BC7J（※）



使用説明書
（本書）



使用説明書
（PC活用編）


保証書

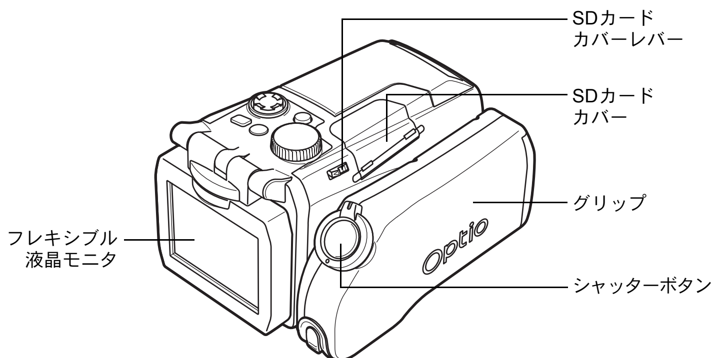
（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.135）をご覧ください。

各部の名称

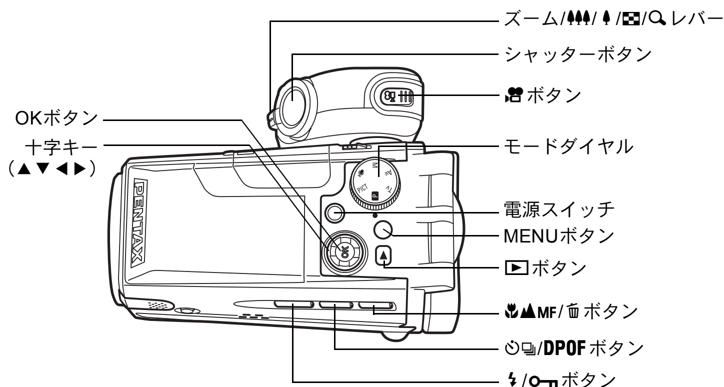
前面

モードダイヤル
⚡OPEN ボタン
ストロボ
電源スイッチ
セルフタイマーランプ
バッテリーカバー
レンズ
スピーカー
マイク
ストラップ取り付け部
端子カバー
USB/AV端子
DC入力端子
三脚ネジ穴

背面



操作部の名称



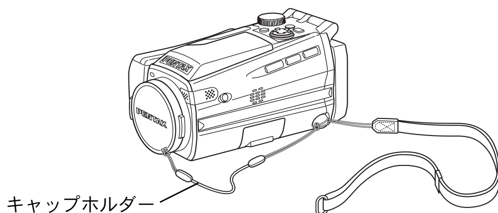
ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU
シャッターボタン	SHUTTER
ボタン	PLAY

ズーム/ / レバー トリミング指定時	
DPOFボタン	DP
ボタン	
ボタン	
OKボタン	OK
ボタン	

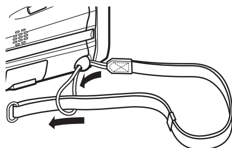
ストラップを取り付ける



レンズキャップにキャップホルダーを付け、ストラップに連結します。レンズキャップは両脇の出っ張りをつまむと外れます。

1 ストラップを本体に取り付ける

ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通します。通した輪は、キャップホルダーを通すので緩めたままにしておきます。



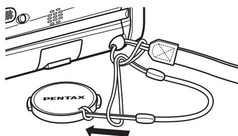
2 レンズキャップにキャップホルダーを取り付ける

キャップホルダーの小さいほうの輪を、レンズキャップの穴に通します。

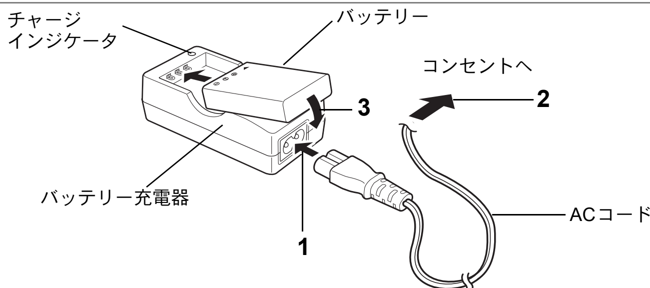


3 キャップホルダーを、カメラのストラップに取り付ける

レンズキャップをくぐらせて、引き締めます。



電源を準備する



バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや、「電池容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1　バッテリー充電器にACコードを接続する

2　ACコードをコンセントに差し込む

3　バッテリーをラベルが上向きになるようにセットする

充電中はチャージインジケータが赤色に点灯します。
充電が完了すると、チャージインジケータが緑色に点灯します。

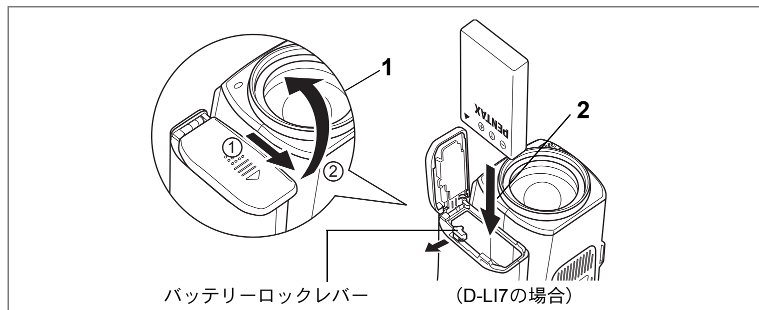
4　充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り出す



- 充電時間は、最大で約180分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行なっても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください。



- お買い上げ時や長期間使わなかったバッテリーはご使用になる前に、必ず充電してください。
- 付属のバッテリー充電器キットK-BC7Jでは、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI7以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。



バッテリーロックレバー　　（D-LI7の場合）

電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池は専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI7を1本使用します。

注意　このカメラでは、単3電池や単3形の充電池は使用できません。

1　グリップ底面のバッテリーカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2　バッテリーの▲マークをバッテリーロックレバー側に向けて、ロックされるまで挿入する

バッテリーロックレバーがカチッというまで押し込みます。

3　バッテリーカバーを閉めて、水平方向に押し込む

バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックレバーを外側に引いてください。



- 長時間連続してご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC7J（別売）をご使用ください。（p.17）
- リチウムイオンバッテリーD-LI7はカメラに入れたままでは充電できません。
- CR-V3 電池は使用可能ですが低温でこのカメラの性能を十分に発揮することができません。その際は、リチウムイオンバッテリー D-LI7をご使用ください。

注意

- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーカバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- カメラを長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。電池を長期間入れたままにしておくと、電池が液もれをすることがあります。
- 長時間電池を取り出しておくと、日時がリセットされている場合があります。その場合は、「日時を設定する」（p.30）の手順に従って、設定しなおしてください。

• 撮影可能枚数、撮影可能時間と再生時間
（23℃・液晶モニタ点灯・専用バッテリー D-LI7フル充電時）

静止画撮影枚数 （ストロボ使用率50％）	動画撮影時間	再生時間
約180枚	約80分	約200分

静止画撮影枚数はCIPA規格に準じた条件で測定し、動画撮影時間および再生時間については当社の測定条件によるものです。撮影モードや撮影状況により、実際に使用できる結果とは異なります。



- 使用環境の温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

• 電池の残量表示

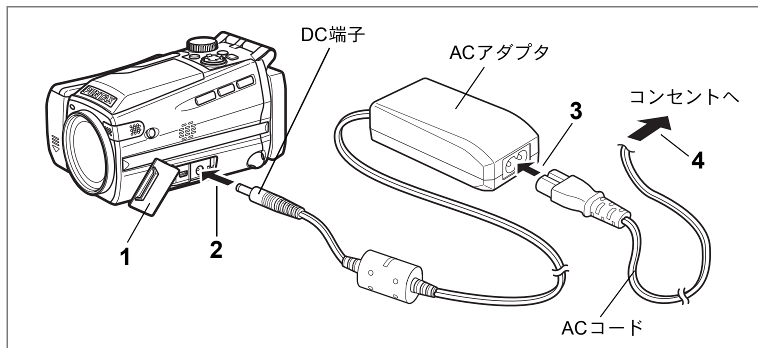
液晶モニタに表示されたで、電池の残量を確認できます。

 （緑点灯）	：	電池がまだ十分に残っています。
 ↓		
 （黄点灯）	：	だいぶ減っています。
↓		
 （赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました。」	：	メッセージ表示後、電源がオフとなります。

• リサイクルについて



このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



ACアダプタを使用する

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC7J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2　ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する

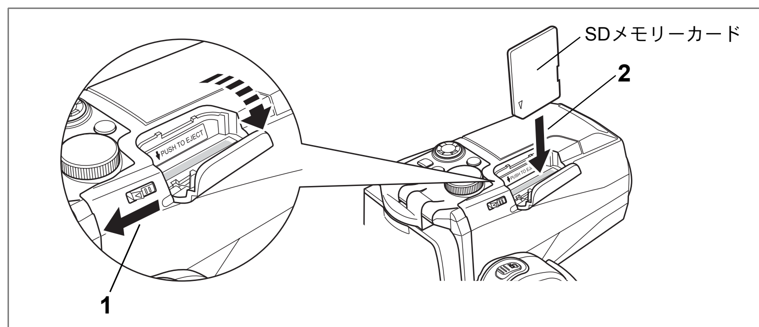
3　ACコードをACアダプタに接続する

4　電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプタを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
- ACアダプタをご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC7Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- AC アダプタを接続しても、カメラ内の電池を充電することはできません。

SDメモリーカードをセットする



このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードです。撮影した画像は、SDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1　SDカードカバーレバーを液晶モニタ側に引く

SDカードカバーが開きます。

2　SDメモリーカードのラベル面をグリップ側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3　カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを押し込んでください。カードが少し飛び出すので、引き抜いてください。



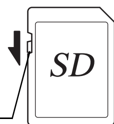
- 撮影できる画像の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。(☞p.20)
- SDメモリーカードにアクセス中（データの記録や読み出し中）は、電源スイッチのランプが点滅します。
- 動画撮影には、高速タイプ（10MB/S）のSDメモリーカードをご使用ください。標準速タイプ（2MB/S）では、撮影途中で液晶モニタに「ストップ」と表示され、動画撮影が終了する場合があります。



未使用または他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては、「SDメモリーカードをフォーマットする」(p.122) をご覧ください。

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
  液晶モニタでは と表示されます。



- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」（p.122）をご覧ください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影、再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

静止画の記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントした時に鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので撮影できる枚数は少なくなります。

静止画の記録サイズと画質の設定は、「撮影機能」メニューで行います。

記録サイズを選択する☞p.72

画質を選択する☞p.73

● 選べる記録サイズと適した用途

2304（2304×1728）	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600（1600×1200）	ハガキより少し大きいサイズでの印刷に適しています。
1024（1024×768 ）	ハガキサイズでの印刷などに適しています。
640（ 640×480 ）	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、2304×1728が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★ （S.ファイン）	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★ （ファイン）	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★ （エコノミー）	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、ファインが選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

画質 / 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
2304（2304×1728）	約24枚	約47枚	約69枚
1600（1600×1200）	約51枚	約89枚	約123枚
1024（1024×768 ）	約112枚	約202枚	約257枚
640（ 640×480 ）	約241枚	約386枚	約483枚

- この表の数値は、64MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

動画の記録サイズと画質

動画の記録サイズと画質は、動画の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値は画像の解像度を示します。数値が大きいほどきめの細かい画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
フレームレートは、1秒間に更新される画像の数を示します。フレーム数が多ければ滑らかな動きになりますがファイルサイズは大きくなります。
動画の記録サイズと画質の設定は「動画機能」メニューで行います。

動画の記録サイズを選択する☞p.91

動画の画質を選択する☞p.92

フレームレートを選択する☞p.93

● 選べる記録サイズと適した用途

640（640×480）	VGAサイズです。テレビに接続しても高画質な動画を楽しめます。ファイルサイズは大きくなります。
320（320×240）	パソコンの画面で見るのに適しています。
160（160×120）	低画質ですが、ファイルサイズは小さくなります。

初期設定では、640×480が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★（S.ファイン）	テレビの画面で再生したときもきれいに見える高画質です。
★★（ファイン）	インターネットの高速回線で配信するのに向いています。
★（エコノミー）	電子メールへの添付に適しています。

初期設定では、S.ファインが選択されています。

● 選べるフレームレートと適した用途（フレーム／秒）

30fps	テレビの画面で再生したときも、滑らかに再生されます。
15fps	パソコンの画面やカメラで見るのに適しています。

初期設定では、30フレーム／秒（fps）が選択されています。

● **記録サイズ／画質と撮影可能時間の目安　30fpsの場合（15fpsの場合）**

画質 / 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	音声
640（640×480）	約2分30秒（約5分）	約4分（約7分）	約5分（約9分）	約4時間22分
320（320×240）	約6分（約11分）	約9分（約16分）	約16分（約25分）	
160（160×120）	約16分（約25分）	約20分（約31分）	約31分（約42分）	

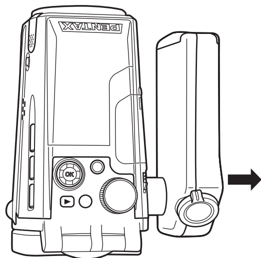
- この表の数値は64MBのSDメモリーカードを使用した場合の数値です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

カメラ各部の操作

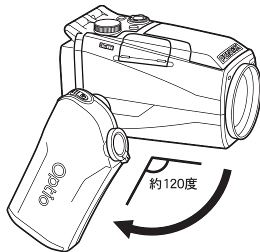
カメラ各部の操作を説明します。

グリップを引き出して回す

グリップを本体から引き出し、矢印の向きに回します。
持ちやすい角度（本体と約120度）に調節してお使いください。



グリップの付け根をもって引き出します。



グリップを開きます。

注意

グリップはレンズに対して180度までしか回転しません。無理な力をかけないようご注意ください。

メモ

- グリップを収納した状態でも、カメラは動作します。
- 三脚をご利用の場合は、グリップを収納した状態で取り付けると安定します。

1

準備

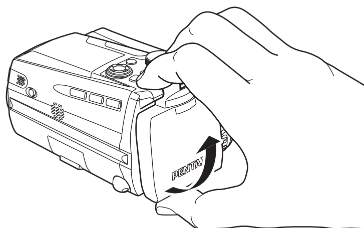
液晶モニタを回転させる

液晶モニタは上下に210度、左右に180度回転させることができます。見やすい角度でご覧ください。

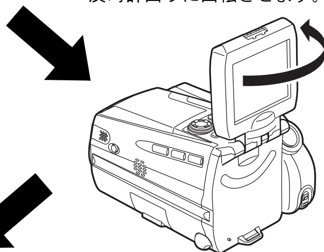
注意

液晶モニタを回転させるときは、無理な力をかけないようご注意ください。

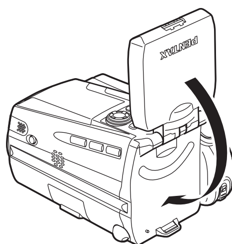
上げる
液晶モニタの下部に指をかけて上に開きます。

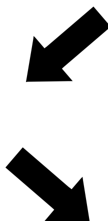


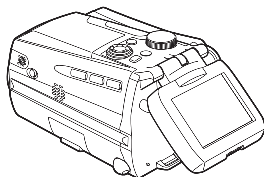
回転する
反時計回りに回転させます。



下げる
レンズ側に向けた液晶モニタを下げます。









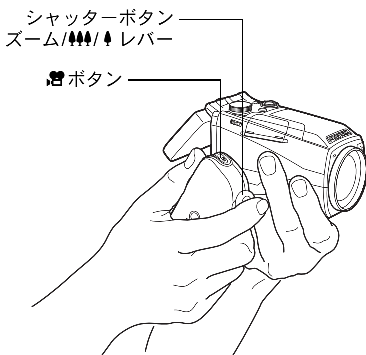
- セルフポートレートなど、液晶モニタをレンズ側に向けて撮影するときは、液晶モニタには被写体が鏡に映ったような状態（鏡像）で表示されますが、撮影画像はレンズの後ろ側から見た状態（正像）で記録されます。
- カメラを使用しないときは、液晶モニタを保護するために、ご購入時と同様に液晶モニタ部をたたんで収納してください。

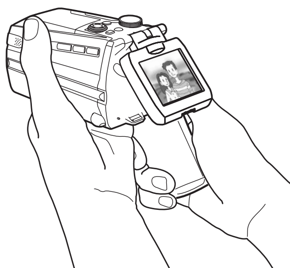
カメラの構え方

このカメラは、右手でグリップを握り、人差し指でシャッターボタンとズーム/w/x レバーを、親指で C ボタンを操作します。
ズームを使った撮影や、動画の撮影ではカメラぶれを起こしやすいので、左手でカメラをしっかり固定して撮影してください。このとき、液晶モニタは45度程度に開くと見やすくなります。

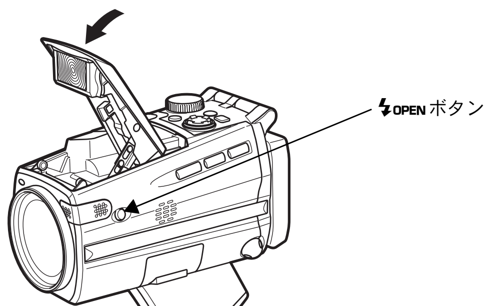


- 動画撮影では、音声も同時に記録されますので、マイクやマイク側面の穴を指などでふさがないよう、ご注意ください。
- 高倍率の撮影では、カメラぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。





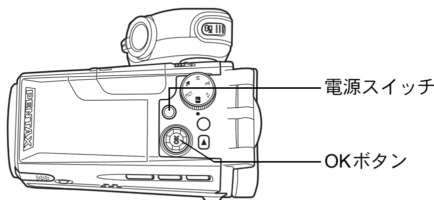
ストロボを開く



1　カメラ側面のϟOPENボタンを押す

ストロボがポップアップします。
閉じるときは、ストロボ上部のロゴ付近を押さえ、静かに押し込んでください。

電源をオン／オフする



1　電源スイッチを押す

電源がオンになり、電源スイッチが緑色に点灯します。
撮影モードアイコンと撮影モード名称が1秒間表示されます。
カメラの電源を入れたときに、「初期設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.29の手順に従って設定を行ってください。



2　もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになり、電源スイッチが消灯します。

静止画を撮影する☞p.48

撮影と再生☞p.67

再生専用モード

再生専用モードは、画像を続けて再生するときに使用します。シャッターボタンなどを押しても、撮影モードには移行しません。

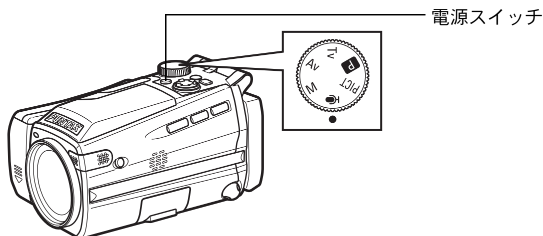
1　▶ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

再生専用モードで起動します。



再生専用モードから撮影モードへ切り替えるには、いったん電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する☞p.98



ボイスレコーディング専用モード

カメラをボイスレコーダーとして使用するときに利用します。
ボイスレコーディング専用モードでは、静止画／動画の撮影はできません。

1　モードダイヤルを🎙に合わせてから電源をオンにする

ボイスレコーディング専用モードで起動します。

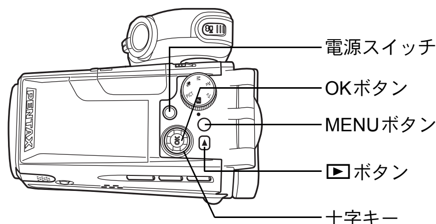


モードダイヤルを🎙以外に合わせると、写真を撮影できる状態に変わります。

音声を録音する☞p.94

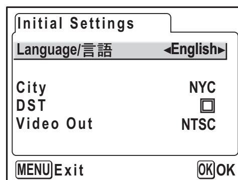
ボタンの機能 ボイスレコーディングモード時☞p.42

初期設定をする



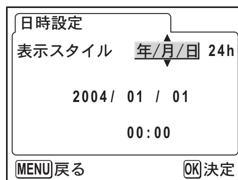
カメラの電源を入れたときに、以下のような画面が表示されたら、☞の手順に従って初期設定をしてください。

初期設定の画面が表示された場合



☞p.30「言語を設定する」「日時を設定する」

日時設定の画面が表示された場合

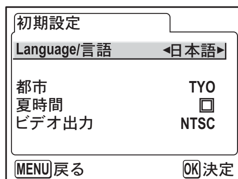


☞p.30「日時を設定する」

上記のような画面が表示されない場合は、初期設定をする必要はありません。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。



1　十字キー（◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ

「日本語」を選んだときに「都市」、「夏時間」、「ビデオ出力」が右図のように表示されていたら、手順8に進んでください。

2　十字キー（▼）を押す

選択枠が「都市」に移動します。

3　十字キー（◀▶）を押して、「TYO（東京）」を表示させる

4　十字キー（▼）を押す

選択枠が「夏時間」に移動します。

5　十字キー（◀▶）を押して、□（オフ）に設定する

6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「ビデオ出力」に移動します。

7　十字キー（◀▶）を押して、「NTSC」を選ぶ

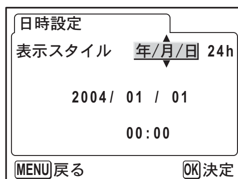
8　OKボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。

日時を設定する

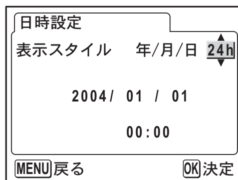
日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する



2　十字キー（▶）を押す

「24h」の上下に▲▼が表示されます。

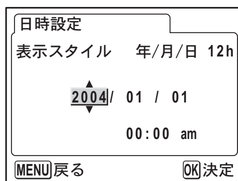


3　十字キー（▲▼）を押して、24h（24時間表示）または12h（12時間表示）を設定する

1 準備

4　十字キー（▶）を押す

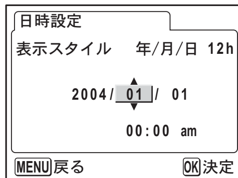
「西暦年」の上下に▲▼が表示されます。



5　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

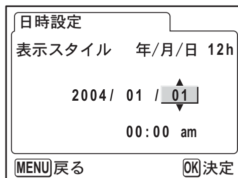
6　十字キー（▶）を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。



7　十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す

「日」の上下に▲▼が表示されます。



8　手順7を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する

手順3で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してam／pmが切り替わります。

9　設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

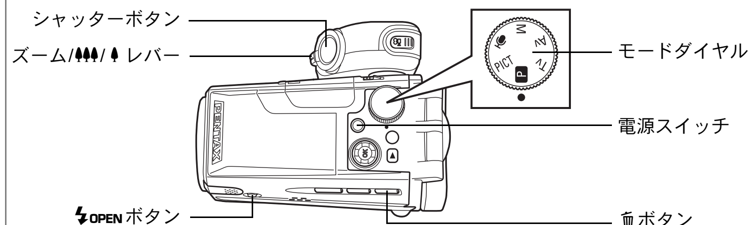


- 日時の設定終了後、OKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 時報に合わせてOKボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

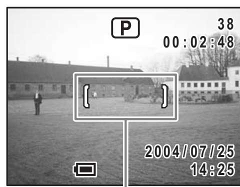


- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日時を変更する」（p.124）をご覧ください。

静止画を撮影する



最も標準的な静止画の撮影方法を説明します。ストロボをポップアップしている場合は、明るさに応じて自動的に発光します。



フォーカスフレーム

1　グリップを引き出して回す

2　液晶モニタを開く

3　電源スイッチを押す

電源がオンになります。

4　モードダイヤルをⓅに合わせる

5　液晶モニタを見る

液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズーム/⚘⚘⚘/⚘レバーを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

⚘　：被写体を拡大して写します。

⚘⚘⚘：被写体を広い範囲で写します。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

撮影した画像は液晶モニタに1秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードに保存されます。



高倍率の撮影では、カメラぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。シャッターボタンを半押ししたときだけシャッター速度、絞り値が液晶モニタに表示されます（Ⓟ、PICTのとき）。ピントが合うと、合った位置でフォーカスフレームが緑色に点灯します。ピントが合っていないときは、枠が表示されません。

全押し

シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

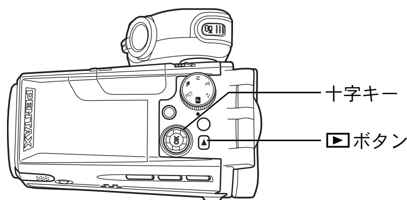
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

クイックビュー

撮影直後には、撮影した画像が液晶モニタに1秒間表示（クイックビュー）されます。クイックビューの表示時間は変更できます。（☞p.79）

静止画を再生する

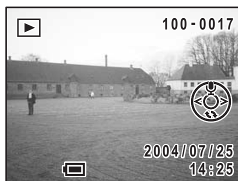


画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。





パソコンを使って再生する方法については、別冊『PC活用編 デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむには』を参照してください。

前後の画像を再生する

静止画を前後に1枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す



前の画像が表示されます。



次の画像が表示されます。

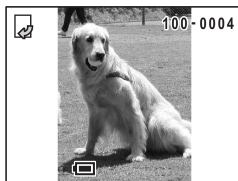
表示された画像を回転表示する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

1回押すごとに、画像が時計回りに90度ずつ回転して表示されます。





回転表示中は、拡大再生や9画面表示はできません。また、DPOF設定や削除、プロテクトも実行できません。

表示した画像を消去するには

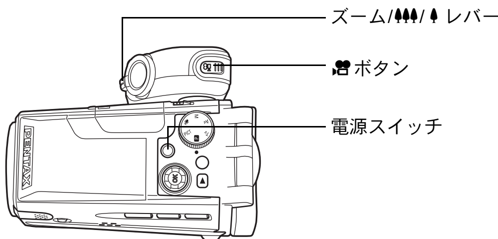
画像表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。（☞p.105）
シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。





- 再生モードに切り替えると最後に撮影した画像が最初に表示されます。
- 再生画像は、ズーム/▦/🔍レバーで拡大して見ることができます。（☞p.99）
- 画像が保存されていないときは、「画像・音声がありません」と表示されます。

動画を撮影する



もっとも標準的な動画の撮影方法を説明しています。

1　グリップを引き出して回す

2　液晶モニタを開く

3　電源スイッチを押す

電源がオンになります。

4　🎥ボタンを押す

動画撮影が開始されます。

ズーム/⧫⧫⧫/⧫ レバーを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。軽く押すとゆっくり、しっかり押すと早く変わります。

⧫　：被写体を拡大して写します。

⧫⧫⧫：被写体を広い範囲で写します。



5　もう一度🎥ボタンを押す

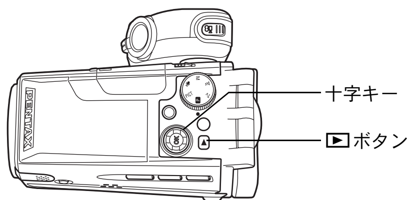
撮影が終了します。

ズームを使って撮影する☞p.52



- 高倍率の撮影では、カメラぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- 動画撮影中はセルフタイマーランプが点灯して、撮影中であることをお知らせします。
- 動画撮影中は液晶モニタの左右反転機能（☞p.24）は無効となります。
- 動画撮影中はズーム操作をしても液晶モニタにズームバーが表示されません。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、フォーカスロックします。
- 動画は静止画の約1.2倍の大きさで撮影されます。

動画を再生する



画像を再生する

動画を再生します。

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。
動画には 🎥 が表示され、1コマ目の画像が表示されます。



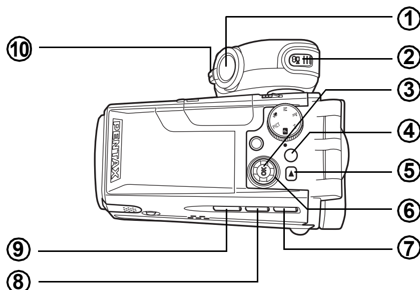
2　十字キー（▲）を押す

動画が再生されます。
十字キー（▼）を押すと再生が終了します。



テレビにつないで再生することもできます、(☞p.104）パソコンを使って動画を再生する方法については、別冊『PC活用編 デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむには』を参照してください。

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

① シャッターボタン

静止画を撮影します。（☞p.32）

② 🎥 ボタン

動画撮影を開始します。もう一度押すと、動画撮影を終了します。（☞p.86）

③ OKボタン

液晶モニタに表示される撮影情報を切り替えます。（☞p.66）
またはデジタルフィルタ選択画面を表示します。（☞p.56）
メニュー画面では、メニュー項目を決定します。

④ MENUボタン

「📷撮影機能」「🎥動画機能」「▶再生機能」「🔧詳細設定」のメニュー画面を表示します。（☞p.43）

⑤ ▶ボタン

再生モードに切り替えます。（☞p.34）

⑥ 十字キー

PICTモード時
（▼）　撮影効果を選択します。（☞p.50）
（◀▶）露出補正をします。（☞p.83）

Ⓟモード時
（◀▶）露出補正をします。（☞p.83）

Tvモード時
（▲▼）シャッター速度を調整します。（☞p.62）
（◀▶）露出補正をします。（☞p.83）

Avモード時
（▲▼）絞り値を調整します。（☞p.63）
（◀▶）露出補正をします。（☞p.83）

Mモード時
（▲▼）絞り値を調整します。（☞p.64）
（◀▶）シャッター速度を調整します。（☞p.64）

⑦ 🌷▲MFボタン

撮影方法を次のように切り替えます。（☞p.68）
マクロ、スーパーマクロ、無限遠、マニュアルフォーカス

⑧ ⏲︎❐ボタン

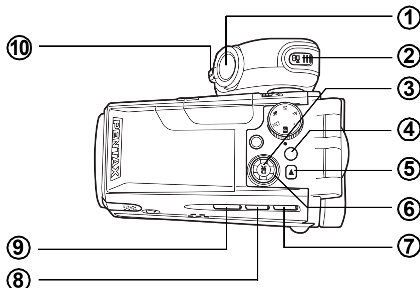
セルフタイマー撮影、連続撮影、オートブラケット撮影を選択します。（☞p.54～p.59）

⑨ ⚡ボタン

ストロボの発光方法を切り替えます。（☞p.70）

⑩ ズーム/♠♠♠/♠ レバー

撮影する範囲を変えます。（☞p.52）



再生モード時

① シャッターボタン
再生を止め、撮影モードに切り替えます。（☞p.32）

② 🎥ボタン
再生を止め、撮影モードに切り替えます。（☞p.32）

③ OKボタン
液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞p.101）
メニュー項目を決定します。（☞p.43）

④ MENUボタン
「📷撮影機能」「🎥動画機能」「▶再生機能」「🔧詳細設定」のメニュー画面を表示します。（☞p.43）

⑤ ▶ボタン
再生を止め、撮影モードに切り替えます。（☞p.32）

⑥ 十字キー
（▲）　動画を再生／一時停止します。（☞p.103）
　　　静止画にボイスメモを録音、再生します。（☞p.96、p.97）
（◀▶）前後の画像を表示します。（☞p.34）
（▼）　静止画を回転して表示します。（☞p.35）
　　　再生中の動画を停止します。（☞p.103）

⑦ 🗑ボタン
再生中の画像を消去します。（☞p.105）

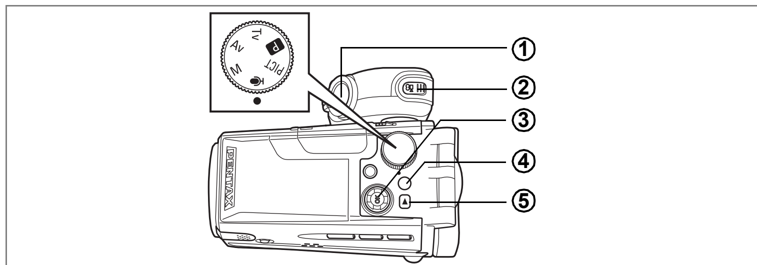
⑧ DPOFボタン
プリントサービスのための設定をします。（☞p.115）

⑨ O‑ボタン
画像を消去できないようにします。（☞p.108）

⑩ ズーム/⊞/Qレバー
通常再生時に⊞側へ押すと、一度に9画像を表示します。（☞p.98）
Q側へ押すと、拡大再生を行い、液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。（☞p.99）



再生専用モードで起動した場合は、シャッターボタン、動画ボタン、▶ボタンを押しても撮影モードには切り替わりません。いったん電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。



ボイスレコーディングモード時

① シャッターボタン

ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。
１秒以上押し続けると、押している間だけ録音し、ボタンを離すと録音を停止します。

② ボタン

録音中に押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。（☞p.94）

③ 十字キー（再生専用モード時）

（▲） 再生を開始します。もう一度押すと、再生を一時停止します。（☞p.95）

（◀▶）再生前には、録音したファイルを選びます。
再生中は、次の動作をします。

インデックスがない場合
再生中に（◀）を押すと約5秒戻ります。
再生中に（▶）を押すと約5秒進みます。

インデックスがある場合
再生中に（◀）を押すと前のインデックス位置に戻ります。
再生中に（▶）を押すと次のインデックス位置に進みます。

④ MENUボタン

「撮影機能」、「動画機能」、「再生機能」、「詳細設定」のメニュー項目を表示します。（☞p.43）

⑤ ボタン

再生モードに切り替えます。もう一度押すと、録音モードに戻ります。（☞p.95）

MENUを設定する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。

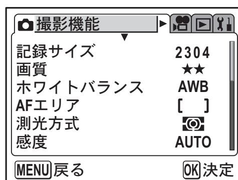
メニューの基本操作

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

例）「撮影機能」メニューの「画質」の設定をする

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

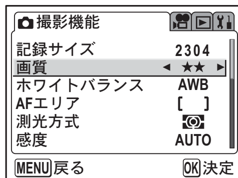


2 十字キー（▼）を押す

項目の選択に移動します。

3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

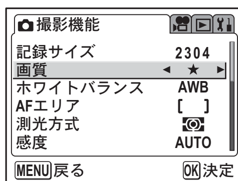


4 十字キー（◄►）で設定を切り替える

十字キーを押すたびに、画質が切り替わります。

5 OKボタンまたはシャッターボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態に戻ります。



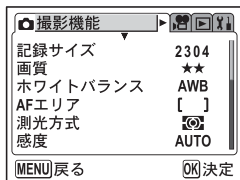
注意　OKボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフすると設定は保存されません。

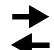
メニュー操作の流れ

撮影モード

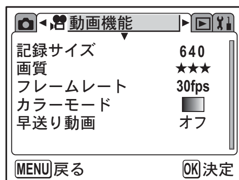


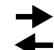
「撮影機能」メニュー

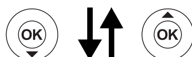


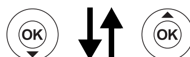



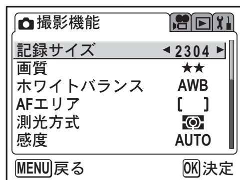

「動画機能」メニュー

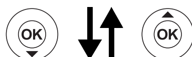


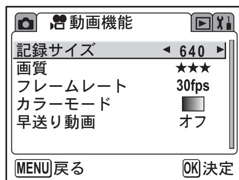



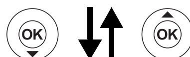



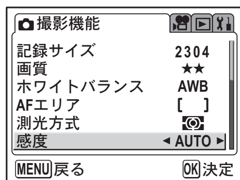










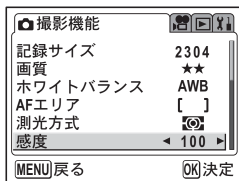








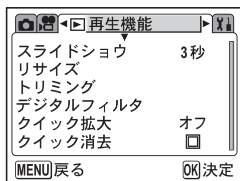
次のメニュー画面

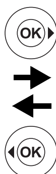


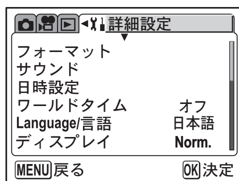
再生モード

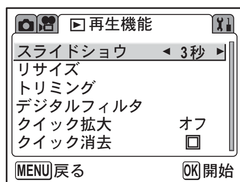


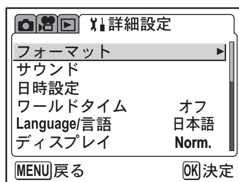
「▶再生機能」メニュー　　　「詳細設定」メニュー

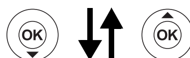


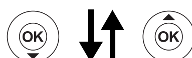














次のメニュー画面



- 撮影モードでMENUボタンを押すと「撮影機能」メニューが表示され、再生モードでMENUボタンを押すと「▶再生機能」メニューが表示されます。
- MENU画面でズームレバーを操作すると「撮影機能」、「動画機能」、「▶再生機能」、「詳細設定」メニューを切り替えることができます。

メニュー一覧

「📷撮影機能」メニュー

静止画の撮影に関するメニューです。動画撮影に関する機能も含まれます。

○… 設定の変更がすべて作動に反映します。
×… 設定の変更は無効です。メニュー画面上では設定を変更できますが、撮影の動作には反映されません。
—… 「🎥動画機能」メニューで設定します。

項目	内容	初期設定	PICT	P Tv Av M	🎥	参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます。	2304 (2304×1728)	○	○	—	p.72
画質	画像の圧縮率が選べます。	★★ (ファイン)	○	○	—	p.73
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	AWB (オート)	×	○	○	p.74
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	[ ] (マルチ)	○	○	×	p.76
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します。	(分割)	○	○	○	p.77
感度	感度を設定します。	AUTO	○	○	○	p.78
ストロボ光量補正	ストロボの発光光量を調整します。	0	○	○	×	p.71
デジタルフィルタ	色フィルタをかけた撮影ができます。	無し		○	—	p.56
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます。	×4	○	○	○	p.52
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します。	1秒	○	○	×	p.79
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします。	※	○	○	○	p.84
シャープネス	シャープネスを設定します。	(標準)	×	○	○	p.80
彩度	彩度を設定します。	(標準)	×	○	○	p.81
コントラスト	コントラストを設定します。	(標準)	×	○	○	p.82

※ストロボ、デジタルズーム、ファイルNo.のみモードメモリする設定になっています。

「動画機能」メニュー

動画撮影にだけ関係するメニューです。

項目	内容	初期設定	参照
記録サイズ	動画の画素数が選べます。	640 (640×480)	p.91
画質	動画の画質が選べます。	★★★ (S.ファイン)	p.92
フレームレート	動画1秒あたりのフレーム(静止画)数が選べます。	30fps	p.93
カラーモード	撮影時に使用する色フィルタを設定します。	カラー	p.88
早送り動画	再生時に早送りに見えるようにコマ落としで撮影します。	オフ	p.89

「再生機能」メニュー

項目	内容	参照
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します。	p.102
リサイズ	画像のサイズを変更します。	p.110
トリミング	画像をトリミングします。	p.112
デジタルフィルタ	撮影した画像を赤、青、緑などのカラーフィルタを用いて加工します。	p.113
クイック拡大	ズーム/⊠/🔍 レバーを一度操作するだけで、画面を設定された倍率に拡大するように設定します。	p.100
クイック消去	オンに設定すると「消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。	p.106

「詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードをフォーマットします。	p.122
サウンド	音量、起動音、シャッター音、操作音、合焦音、セルフタイマー音を設定します。	p.123
日時設定	日付、時刻、日付表示スタイルを設定します。	p.124
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.124
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.126
ディスプレイ	液晶モニタの表示を切り替えます。	p.126
画面設定	背景色、画面効果を設定します。	p.127
LCDの明るさ	液晶モニタの明るさを設定します。	p.128
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	p.129
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.130
スリープ	節電機能を設定します。	p.131
オートパワーオフ	設定した時間で自動的に電源が切れるようにします。	p.131
OKボタン	撮影／再生中にOKボタンに機能を登録します。	p.132
リセット	日時、言語、ワールドタイム以外の設定をご購入時の状態に戻します。	p.133

静止画を撮影する

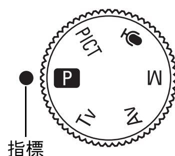
静止画の撮影モードを選ぶ

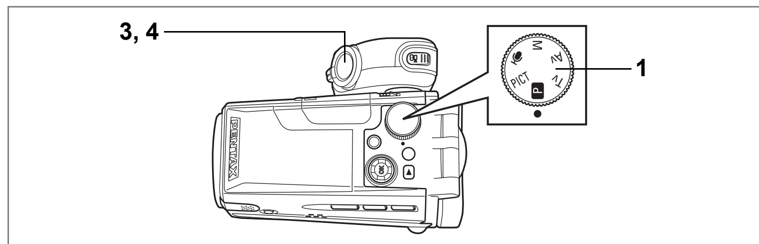
簡単にきれいな写真が撮れるカメラにお任せの撮影モードから、個性的な写真が取れるマニュアル設定モードまで、さまざまな撮影モードがあります。

撮影モード

PICT	ピクチャーモード	10種類のピクチャーモードが用意されています。撮影するシーンに合わせて、カメラが最適な露出、ホワイトバランスなどを設定します。手軽にイメージ通りの撮影ができます。	p.50
P	プログラムモード	一般的な撮影にむいています。カメラのさまざまな機能を駆使して撮影を楽しめます。	p.49
Tv	シャッター優先モード	シャッター速度はマニュアルで設定し、絞り値はカメラが自動的に設定して撮影するモードです。	p.62
Av	絞り優先モード	絞り値はマニュアルで設定し、シャッター速度はカメラが自動的に設定して撮影するモードです。	p.63
M	露出マニュアルモード	シャッター速度と絞り値をマニュアルで設定して撮影するモードです。	p.64

1　モードダイヤルを回して、指標にPICT、P、Tv、Av、Mのいずれかを合わせる





機能を設定して撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。ストロボの発光方式や連続撮影などその他の機能は自由に設定できます。

1 モードダイヤルをPに合わせる

2 使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「静止画撮影のための機能を設定する」（p.67～p.83）をご覧ください。



3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

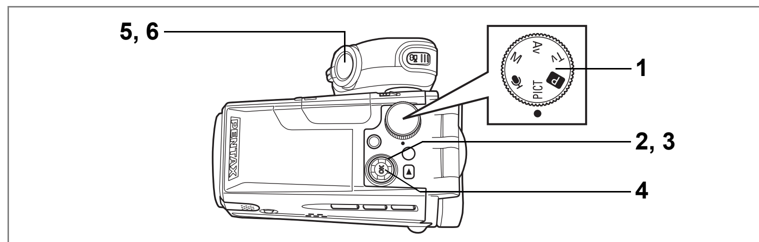
静止画を撮影する☞p.32

シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。

ピクチャーモードには、次の10のモードがあります。

	風景	木々の緑や青空などの輪郭や彩度を強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。
	花	色鮮やかな花をきれいに仕上げます。画像の明るさを確保し、背景が適度にボケるように制御しています。
	ポートレート	肌色を美しく撮影できます。（コントラストをやや低めに設定することで肌がきれいに撮影できます。）
	スポーツ	スポーツ風景など動きの激しい被写体をきれいに撮影します。
	サーフ&スノー	晴天の海や湖、雪景色を明るく鮮やかに撮影します。（コントラストをやや高めにして、鮮やかに再現できます。）
	夕景	赤い夕焼け(朝焼け)を見た目のままに美しく表現します。（露出補正をかけて少し暗い夕暮れの雰囲気を出し、彩度をやや高くして色を鮮やかに撮影します。）
	夜景	夕暮れや夜景、またそれらを背景とした人物撮影がきれいにできます。（最大4秒のスローシャッター、低速シンクロおよびノイズリダクション機能があります。）
SOFT	ソフト	ソフトレンズを使用して撮影したようなフレアーによるやわらかな描写で撮影します。
	イラスト	イラスト調に処理した画像が撮影できます。
	パノラマアシスト	付属のソフトウェアを使ってパノラマ写真合成をするために、画像の端と端を重ねるように撮影できます。（☞p.60）



1 モードダイヤルをPICTに合わせる

2 十字キー（▼）を押す

ピクチャーモードの選択画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）でピクチャーモードを選択する



4 OKボタンを押す

ピクチャーモードが選択されます。

5 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

38
00:02:48
2004/07/25
14:25

6 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

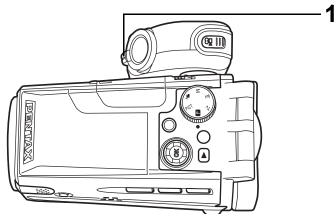


暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、カメラぶれしないよう、カメラを三脚などに固定して撮影してください。



- ピクチャーモードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードに最適な値に設定されます。設定値は反映されません。
- 遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。

シャッターボタンの押しかた☞p.33



PICT Ⓟ Tv Av M 🎥

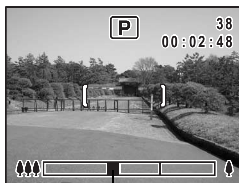
ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 撮影モードでズーム/♠♠♠/♠ レバーを押す

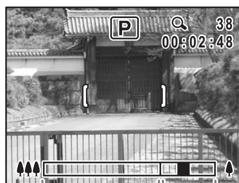
♠ 望遠：被写体を拡大して写します。
♠♠♠ 広角：被写体を広い範囲で写します。
ズームバーで現在の拡大状況が確認できます。

デジタルズーム機能がオフのときは、10倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能が「×10」のときは、光学ズームと合わせて最大約100倍相当まで拡大して撮影できます。



ズームバー





光学ズーム領域　デジタルズーム領域



- 高倍率の撮影では、カメラぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- 動画撮影中はズーム操作をしても液晶モニタにズームバーが表示されません。

ズームの二段操作

ズームには高速ズームと低速ズームがあります。
ズームレバーを♠♠♠側、または♠側に少し押すとズーム倍率がゆっくりと変化します（低速ズーム）。指を離すと止まります。
ズームレバーを♠♠♠側、または♠側に押し切るとズーム倍率が早く変化します（高速ズーム）。指を離すと止まります。



- 動画を撮影する場合は、ズーム倍率をゆっくり変化させたほうが見やすい映像が撮影できます。
- 静止画を撮影する場合は、高速ズームでシャッターチャンスを素早くとらえます。

設定したズーム位置を保存する☞p.84

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは「×4」に設定されています。最大まで拡大したいときは「×10」に、光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、「オフ」に設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

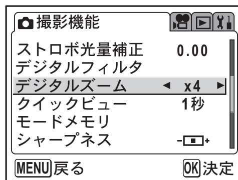
「📷撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

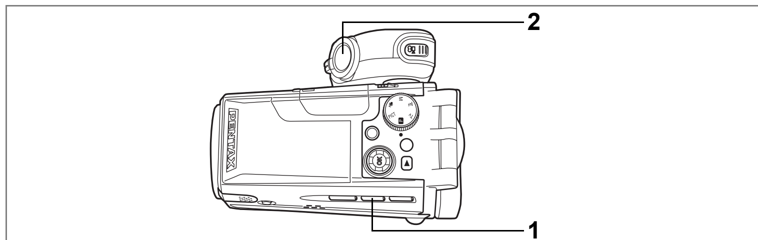
3　十字キー（◀▶）で「×4」、「×10」、「オフ」を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



デジタルズーム機能の設定を保存する☞p.84



PICT Ⓟ Tv Av M

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、一定時間後に撮影されます。
10秒セルフタイマーは、撮影者も含めて集合写真をとる場合などに利用できます。
2秒セルフタイマーは、シャッターボタンを押すことで生じるカメラぶれを避けて撮影するためなどに利用できます。

1 撮影モードでボタンを押して、液晶モニタにまたはを表示させる

2 シャッターボタンを押す



シャッターを押してから約10秒後に撮影されます。セルフタイマーランプが約7秒間点灯し、その後3秒間点滅します。

シャッターを押すとセルフタイマーランプが点滅し、約2秒後に撮影されます。



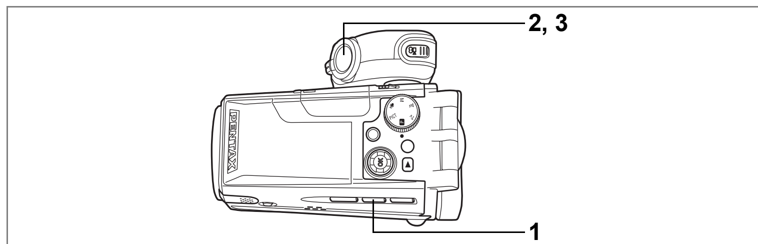
静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。



- ボタンを押すと、10秒（または2秒）後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン表示中に MENU ボタンなどいずれかのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。

セルフポートレートを撮影する☞p.50

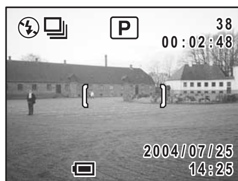
こんなときには「ピントが合わない」☞p.139



PICT Ⓟ Tv Av M

連続して撮影する（連続撮影／高速連写）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。



1 撮影モードで ⏲⧉ ボタンを押して、液晶モニタに ⧉ または HS⧉ を表示させる

2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

⧉ 1枚撮影するごとに、画像をメモリに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。

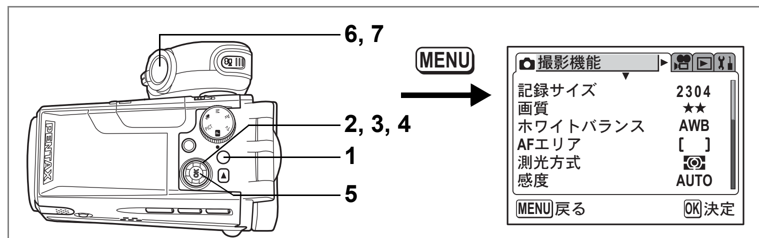
HS⧉ シャッターボタンを押している間、最大 2 枚まで続けて撮影し、まとめてメモリに書き込みます。シャッターボタンを押している間これを繰り返し、最大2枚ずつの高速連写ができます。



- SDメモリーカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。



- 連続撮影／高速連写では、ストロボは発光しません。
- PICT モードのパノラマアシストでは、連続撮影はできません。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目で固定されます。



P Tv Av M

色フィルタを設定して撮影する（デジタルフィルタ）

赤、青、緑などさまざまな色のデジタルフィルタを使用して撮影します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で、デジタルフィルタを選択する

3 十字キー（▶）を押す

デジタルフィルタの選択画面が表示されます。



4 十字キー（▲▼）でデジタルフィルタを選ぶ

デジタルフィルタは、白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄の8種類の中から選択できます。

5 OKボタンを押す

デジタルフィルタが選択され、撮影モードになります。



6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

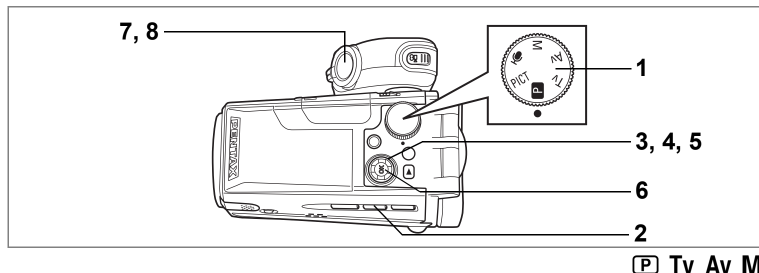
撮影されます。



- このデジタルフィルタは、静止画撮影用です。動画撮影用の色フィルタは「動画機能」の「カラーモード」で設定してください。（☞p.88）
- デジタルフィルタの選択画面をOKボタンに設定することができます。設定すると、撮影中、OKボタンを押すだけでデジタルフィルタの選択画面が表示されます。
- 撮影後に、デジタルフィルタで加工することもできます。
- 撮影モードを変更すると、デジタルフィルタの設定は解除されます。

OKボタンの機能を設定する☞p.132

デジタルフィルタを使って編集する☞p.113



Ⓟ Tv Av M

オートブラケット撮影をする

シャッターボタンを押したときに、露出やホワイトバランスなどの撮影条件を変えた写真を3枚連続して撮影できます。簡単な操作で最適な画像を撮影できます。

オートブラケット設定

	露出	標準、アンダー（暗い絵）、オーバー（明るい絵）の順で撮影します。ふり幅は0.25、0.5、0.75、1.0、1.25、1.50、1.75、2.00から選択できます。	p.83
	ホワイトバランス	標準、赤みがかった（色温度が低い）側、青みがかった（色温度が高い）側の順で撮影します。ふり幅は、1、2、3、4、5から選択できます。	p.74
	彩度	標準、低（マイナス）、高（プラス）の順で撮影します。	p.81
	シャープネス	標準、ソフト側（マイナス）、ハード側（プラス）の順で撮影します。	p.80
	コントラスト	標準、低（マイナス）、高（プラス）の順で撮影します。	p.82

1 モードダイヤルをPICTと以外に合わせる

2 ボタンを押して、を表示させる

3 十字キー（▼）を押す

オートブラケット選択画面が表示されます。



4 十字キー（▲▼）で機能を選ぶ

5 露出またはホワイトバランスの場合は十字キー（◀▶）で、ふり幅を選ぶ

4 静止画の撮影

6　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。
オートブラケットする機能が画面に表示されます。



7　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

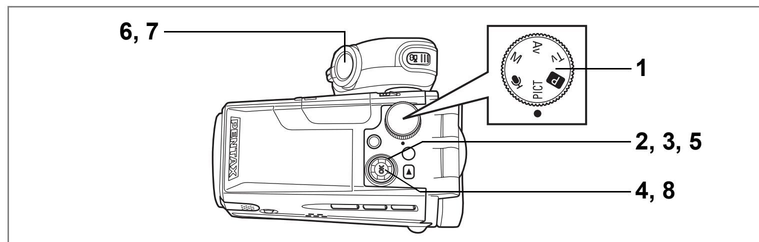
8　シャッターボタンを全押しする

注意

を選択している場合は、手順8のシャッター全押しで3枚連続で撮影されます。
他の項目を選択している場合には、手順8のシャッター全押しで1枚だけ撮影し、内部処理で3枚分の画像を作成します

メモ

2枚目、3枚目の撮影では、設定項目（露出、ホワイトバランス、彩度、シャープネス、コントラスト）以外は1枚目と同じ条件で撮影されます。



PICT

パノラマ撮影をする（パノラマアシスト）

同梱のCD-ROM（S-SW23）に搭載されているソフトウェア（ACDSee for PENTAX）を使って何枚かの写真をつなぎ合わせたパノラマ写真を簡単に作成することができます。パノラマアシストを選択すると、あとでパノラマ写真合成が行いやすいよう、画像の端と端が重なるように撮影することができます。

1　モードダイヤルをPICTに合わせる

2　十字キー（▼）を押す

ピクチャーモードの選択画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で、▮■▮（パノラマアシスト）を選択する



4　OKボタンを押す

5　十字キーでつなげる方向を選ぶ

◀ 画像を左につなぎます。
▶ 画像を右につなぎます。
▲ 画像を上につなぎます。
▼ 画像を下につなぎます。



ここでは▶を選んだ場合について説明します。

6 1枚目の画像を撮影する



シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

7 カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する



実画像が左端の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。3枚目以降の画像も、手順6、7を繰り返して撮影します。

8 OKボタンを押す

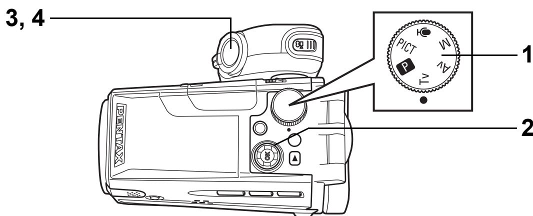
手順5の画面に戻ります。



パノラマ撮影を中止するには、パノラマアシスト以外のモードに切り替えてください。

注意

- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX、ACD photostitcher）を使用します。パノラマ合成については、別冊の『PC活用編 デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむには』を参照してください。
- パノラマアシストでは、連続撮影はできません。



Tv

シャッター速度優先で撮影する

シャッター速度を設定して撮影します。絞り値は、設定したシャッター速度にあわせて適正な露出になるように、カメラが自動的に設定します。動きのある被写体を遅いシャッター速度で動きを強調する場合などに使用します。



1　モードダイヤルをTvに合わせる

2　十字キー（▲▼）でシャッター速度を選ぶ

十字キー（▲）を押すと高速側に、十字キー（▼）を押すと低速側になります。

3　シャッターボタンを半押しする

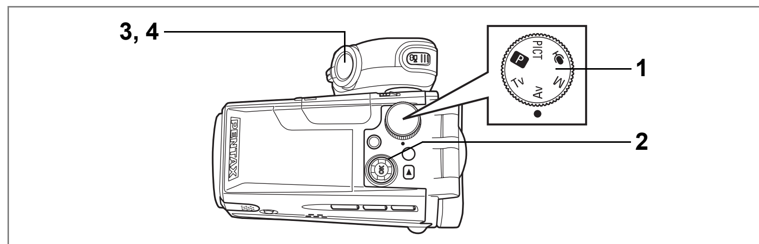
絞り値が適正な値に調節されます。
適正露出にならない場合、絞り表示がオレンジ色になります。
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。



遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。



絞り優先で撮影する

絞り値を設定して撮影します。シャッター速度は、設定した絞り値にあわせて適正な露出になるように、カメラが自動的に設定します。絞り値を小さくすると背景が大きくぼけて、絞り値を大きくすると手前から奥までピントが合っているように見えます。ピントが合って見える幅（被写界深度）を意図的に変えて撮影したい場合に、この機能を使います。

1　モードダイヤルをAvに合わせる

2　十字キー（▲▼）で絞り値を選ぶ

十字キー（▲）を押すと開放、十字キー（▼）を押すと絞り込みになります。



3　シャッターボタンを半押しする

シャッター速度が適正な値に調節されます。

適正露出にならない場合、シャッター速度表示がオレンジ色になります。

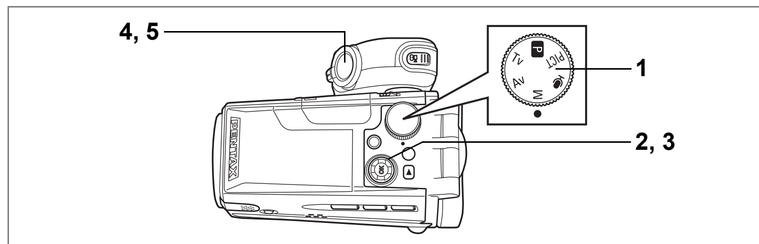
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。



遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。



M

マニュアル露出設定で撮影する

シャッター速度も絞り値も、撮影者が自由にセットして撮影します。個性的な写真を撮影したい場合にこの機能を使います。



1　モードダイヤルをMに合わせる

2　十字キー（▲▼）で絞り値を選ぶ

十字キー（▲）を押すと開放、十字キー（▼）を押すと絞り込みになります。

3　十字キー（◀▶）でシャッター速度を選ぶ

十字キー（▶）を押すと低速側に、十字キー（◀）を押すと高速側になります。
露出が±2EVの範囲で適正でない場合、画面の下段中央に◪または◩と過不足分が表示されます。
露出が±2EVを超えて過不足の場合は、◪または◩が点滅表示されます。

4　シャッターボタンを半押しする

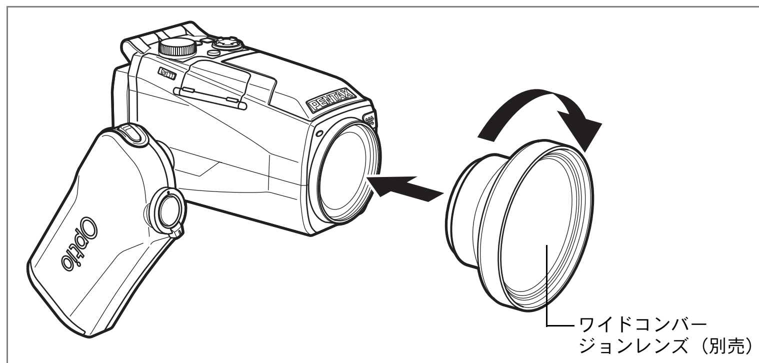
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。



遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。



ワイドコンバージョンレンズ（別売）を使って撮影する

別売品としてコンバージョンレンズL-WC17 が用意されています。（☞p.135）
L-WC17はカメラレンズの前枠にねじ込むだけで、より広角の撮影（35mmフィルム換算で27.75mm相当）ができる便利なアクセサリーです。

注意

- L-WC17 はカメラのズームが最も広角（♠♠♠）側で使用するように設計されています。ズームを望遠（♠）側にしてご使用になると画像が劣化しますので、お勧めできません。
- L-WC17 使用時は、四隅にケラレを生じることがありますのでフィルタ等を併用しないでください。
- 内蔵ストロボをご使用の際は、撮影距離が近すぎると画面の下側にケラレを生じる場合がありますので、ご注意ください。



L-WC17は動画撮影でも利用できます。その場合、ズームは静止画撮影と同様に最も広角（♠♠♠）側でご使用ください。

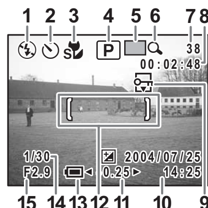
撮影情報を確認する

OKボタンを押すたびに、液晶モニタの表示が切り替わります。
OKボタンに「FILT.（フィルタ）」を設定している場合は、「ꝏ詳細設定」メニューの「ディスプレイ」で表示を変更できます。（☞p.126）

Norm.（通常表示）

撮影情報を表示します。

1 ストロボモード	2 ドライブモード
3 フォーカスモード	4 撮影モード
5 デジタルフィルタ	6 デジタルズーム
7 撮影可能枚数	8 撮影可能時間
9 カード状態警告	10 現在の日時
11 露出補正	12 フォーカスフレーム
13 バッテリー残量表示	14 シャッター速度
15 絞り値	

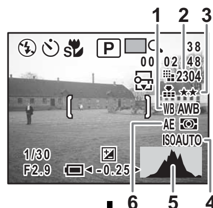




H+inf（ヒストグラム表示）

明度分布を表示します。ヒストグラムの横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

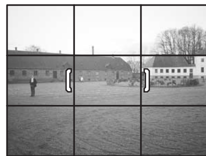
1 ホワイトバランス	2 記録サイズ
3 画質	4 感度
5 ヒストグラム	6 測光方式





Grid（グリッド表示）

構図作成の目安となるグリッドを表示します。

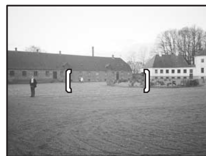




Frame（表示情報なし）

撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス時には、フォーカスフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。





Norm.（通常表示）

液晶モニタの表示モードを保存する☞p.84

静止画撮影のための機能を設定する

撮影と再生

撮影し、記録するモードを撮影モードと呼びます。撮影モードでは、シャッターボタンで静止画撮影を、🎥ボタンで動画撮影を行います。
撮影して記録した画像を再生するモードを再生モードと呼びます。再生モードでは、再生した画像に簡単な画像処理もできます。
撮影モードと再生モードの切り替えは、次のように行います。

撮影モードから再生モードへ切り替える

1 ▶ボタンを押す

再生モードに切り替わります。

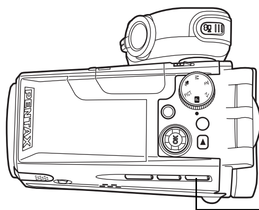
再生モードから撮影モードへ切り替える

1 ▶ボタンまたは🎥ボタンを押す

または

1 シャッターボタンを半押しする

撮影モードに切り替わります。



PICT Ⓟ Tv Av M

ピントの合わせ方を選ぶ（フォーカスモード）

フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカス	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が広角時約40cm以上、望遠時約120cm以上のときに使用します。
	マクロ	被写体までの距離が広角時約10～50cm、望遠時約60～150cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
s	スーパーマクロ	被写体までの距離が約0～15cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
▲	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。ストロボは（発光禁止）となります
MF	マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせます。

1　撮影モードで▲MFボタンを押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、液晶モニタにアイコン表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できます。

注意

sでは、レンズ表面にゴミ等が付いていると、そこにピントが合ってしまい被写体にピントが合わないことがありますので、ご注意ください。



- フォーカスモードの初期設定は、オートフォーカスです。
- sでは、デジタルズームのみ使用できます。

4 静止画の撮影

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

MFでの設定方法を説明します。

1　撮影モードで🌷▲MFボタンを押してMFを表示する

ピント合わせ中は、画面中央部が2倍に拡大して表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押す

液晶モニタにインジケータが表示されます。これを目安に十字キー（▲▼）でピントを合わせます。


遠くにピントが合います。


近くにピントが合います。



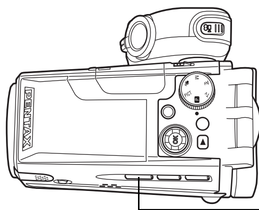
インジケータ

フォーカス位置が決まったら、十字キー（▲▼）以外のボタンを押すか、または十字キー（▲▼）から指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。



- 設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。
- MFでは、M、Tv、Av撮影時のシャッター速度や絞りを調整することはできません。

フォーカスモードを保存する☞p.84



PICT P Tv Av M

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

（表示なし）	オート	暗い時や逆光の時にストロボを発光します。
⊛	発光禁止	暗い時や逆光の時でも発光しません。夕景撮影や美術館などストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。



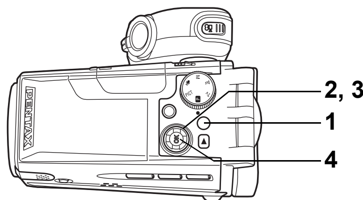
- ストロボを使うときは、⚡OPENボタンを押してストロボをポップアップしてください。ストロボ収納時は、常に発光禁止となります。
- ドライブモードが連続またはHS連続、フォーカスモードが▲または🌷に設定されているときは、常に発光禁止になります。
- 本機は、ストロボ発光の際、プリ発光（予備発光）の後、2回目の発光（本発光）で撮影を行います。赤目軽減機能を使用した場合は、プリ発光と本発光の間隔が長くなります。
- M、Tv、Avでは、ストロボ発光方法の「オート」、「オート＋赤目軽減」は選択できません。
- シャッターボタンを半押ししたときに⊛が点滅した場合は、手ぶれ防止のためストロボを使用してください。

1　撮影モードで⚡ボタンを押す

押すたびに発光方法が切り替わり、液晶モニタにアイコン表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ストロボ発光方法を保存する☞p.84

4 静止画の撮影



PICT Ⓟ Tv Av M

ストロボの光量を補正する

ストロボの光量を調整できます。

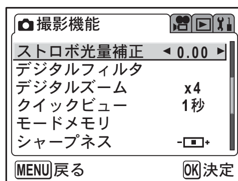
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「ストロボ光量補正」を選ぶ

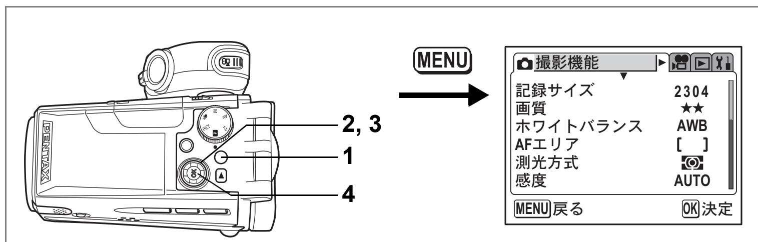
3 十字キー（◀▶）で光量補正量を選ぶ

ストロボを明るくするには＋側に、暗くするには－側に設定します。
光量補正＋の場合は⚡+、光量補正－の場合は⚡-のように＋や－がついたストロボアイコンとなります。



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



PICT P Tv Av M

記録サイズを選択する

静止画像の記録画素数を「2304×1728」「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。また、画像の容量は画質の設定（☞p.73）によっても異なります。

記録サイズ

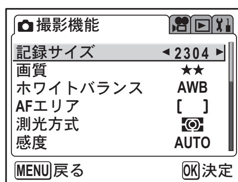
2304（2304×1728）	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600（1600×1200）	ハガキより少し大きいサイズでの印刷に適しています。
1024（1024×768 ）	ハガキサイズでの印刷などに適しています。
640（ 640×480 ）	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3　十字キー（◄►）で記録サイズを切り替える



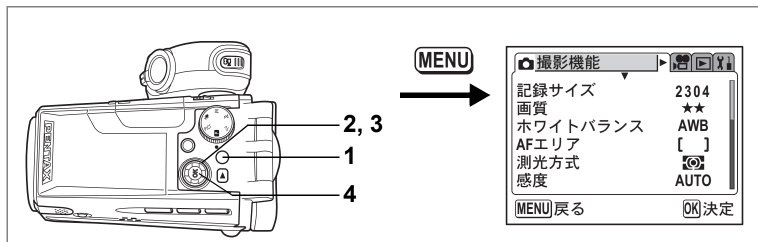
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



- 記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。

静止画の記録サイズと画質☞p.20



PICT P Tv Av M

画質を選択する

静止画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、圧縮率は低くなります。画像はきれいになり容量も増えます。また、画像の容量は、記録サイズの設定（☞p.72）によっても異なります。

画質

★★★ （S.ファイン）	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★ （ファイン）	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★ （エコノミー）	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

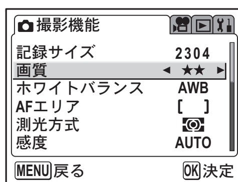
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で画質を切り替える

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

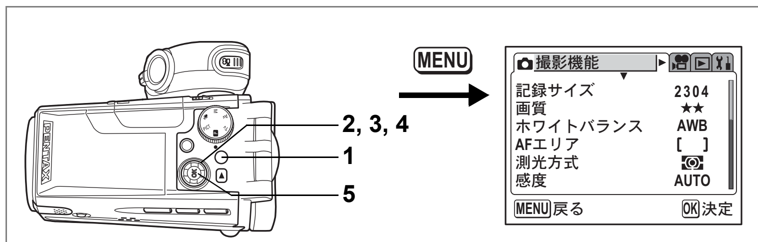




画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

静止画の記録サイズと画質☞p.20

4 静止画の撮影



P Tv Av M

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整する方法を設定します。

ホワイトバランス

AWB （オート）	調整をカメラにまかせます。
（太陽光）	太陽の下で撮影するときに設定します。
（日陰）	日陰で撮影するときに設定します。
（白熱灯）	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
（蛍光灯）	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
（マニュアル）	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。



4 十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.84

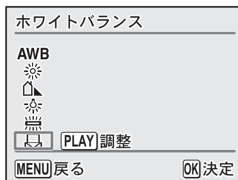
オートブラケット撮影をする☞p.58

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1 ホワイトバランス選択画面で（マニュアル）を選ぶ

2 ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニタ画面いっぱいに素材がはいるよう、カメラを構える



3 ボタンを押す

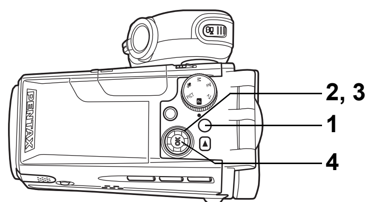
シャッターが切れ、ホワイトバランスが自動的に調整されます。
ホワイトバランスが自動調整されると液晶モニタに「完了」と表示され、その後「撮影機能」メニュー画面に戻ります。

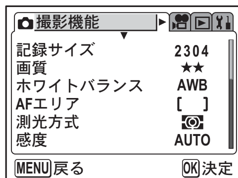
4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



PICTではホワイトバランスの変更は無効です。





PICT P Tv Av M

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

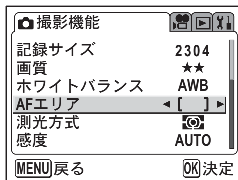
[ ]（マルチ）	通常範囲に設定します。
[ ]（スポット）	フォーカスが合う範囲を狭くします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

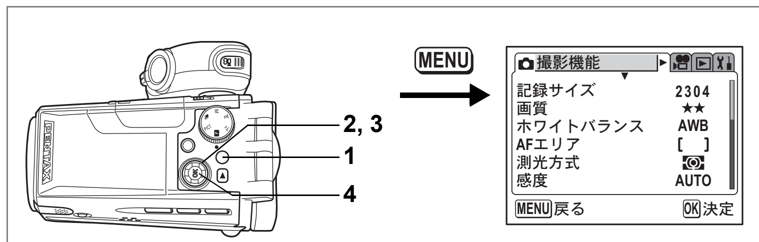
3　十字キー（◀▶）でAFエリアを切り替える



4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

AFエリアの設定を保存する☞p.84



PICT P Tv Av M

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

測光方式

（分割）	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
（中央部重点）	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
（スポット）	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

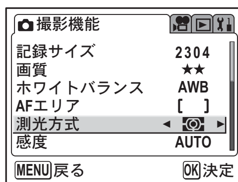
「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で測光方式を選ぶ

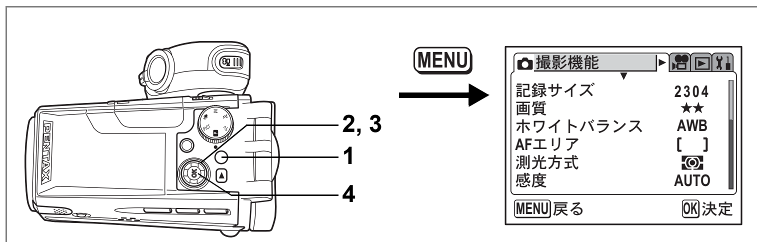
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



測光方式を保存する☞p.84

4
静止画の撮影



PICT P Tv Av M

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

感度

AUTO	設定をカメラにまかせます。(AUTO)
100	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。
200	
400	

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

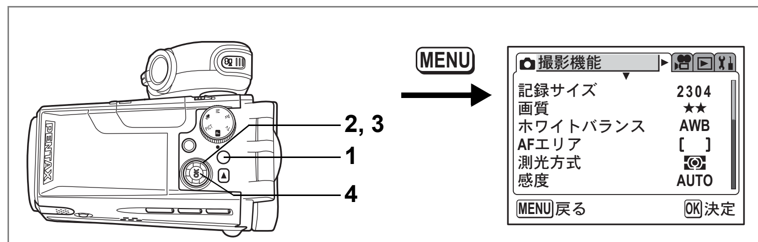


3 十字キー（◄►）で感度を選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

感度を保存する☞p.84



PICT P Tv Av M

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の表示時間を1秒、2秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選べます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

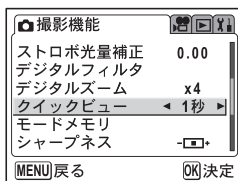
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で表示時間を選ぶ

4 OKボタンを押す

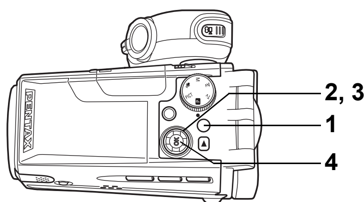
撮影できる状態になります。



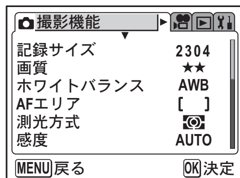


クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

4 静止画の撮影







P Tv Av M

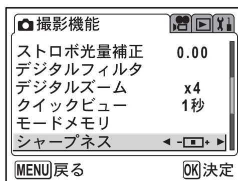
シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ



3　十字キー（◀▶）で（ソフト）（標準）（ハード）を切り替える

－側がソフト、＋側がハードになります。

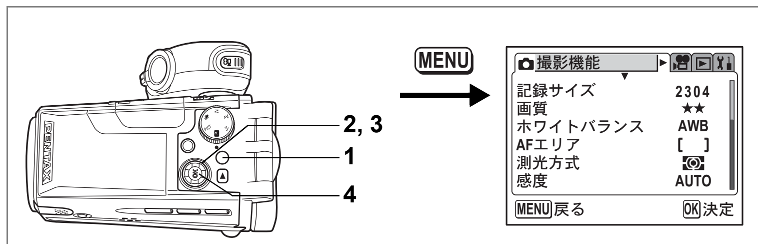
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



- PICTではシャープネスの変更は無効です。
- シャープネスの設定は、電源をオフにしても保持されます。

オートブラケット撮影をする☞p.58



P Tv Av M

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

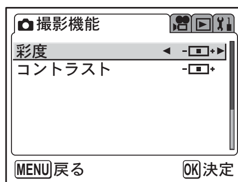
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で（低）（標準）（高）を切り替える

－側が彩度が低く、＋側が彩度が高くなります。



4 OKボタンを押す

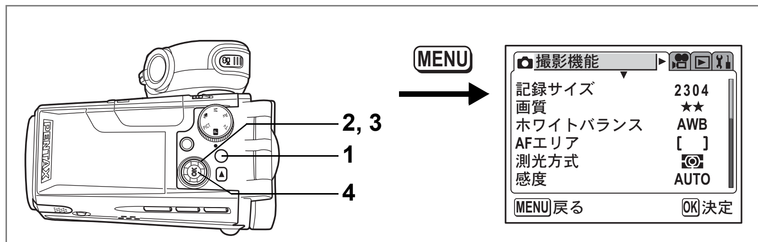
撮影できる状態になります。



- PICTでは彩度の変更は無効です。
- 彩度の設定は、電源をオフにしても保持されます。

オートブラケット撮影をする☞p.58

4 静止画の撮影



P Tv Av M

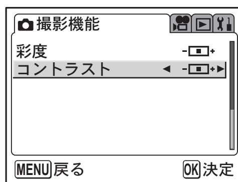
コントラストを設定する

画像の明暗差を設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ



3 十字キー（◀▶）で（低）（標準）（高）を切り替える

－側がコントラストが低く、＋側がコントラストが高くなります。

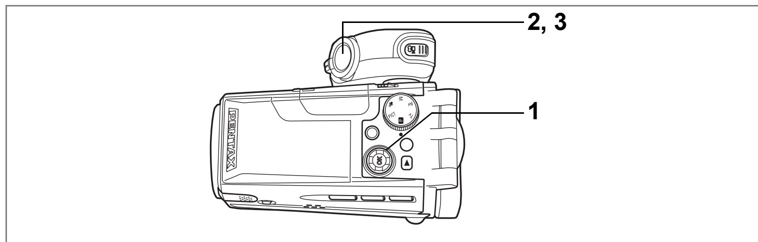
4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



- PICTではコントラストの変更は無効です。
- コントラストの設定は、電源をオフにしても保持されます。

オートブラケット撮影をする☞p.58



PICT Ⓟ Tv Av 🎥

露出を補正する

撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

1 撮影モードで十字キー（◀▶）を押す

露出補正量が選択できます。
明るくする場合は＋側に、暗くする場合は－側に設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を0.25EV単位で選択できます。



2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

露出補正値を保存する☞p.84

オートブラケット撮影をする☞p.58

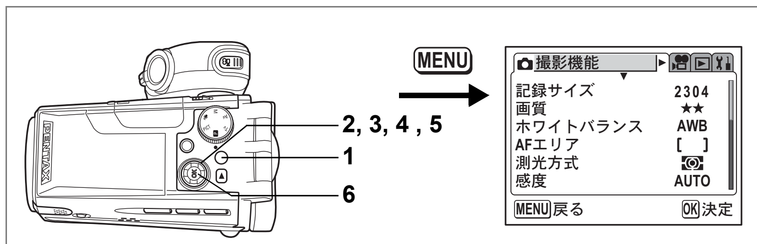
設定を保存する（モードメモリ）

撮影のための設定には、電源をオフにしても常に設定が維持されるものと、初期設定に戻すかどうかを選べるものがあります。初期設定に戻すかどうかを選べる項目を表に示します。☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときに初期設定に戻ります。ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます。

項目	内容	初期設定
ストロボモード	⚡ボタンで設定したストロボモード（☞p.70）	☑
ドライブモード	⏱▣ボタンで設定したドライブモード（☞p.54、55、58）	□
フォーカスモード	🌷▲MFボタンで設定したフォーカスモード（☞p.68）	□
ズーム位置	ズームレバーで設定した光学ズーム位置（☞p.52）	□
MF位置	🌷▲MFボタンで設定したマニュアルフォーカスでのピントの合う距離（☞p.69）	□
ホワイトバランス	「📷撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」での設定（☞p.74）	□
AFエリア	「📷撮影機能」メニューの「AFエリア」で設定したAFエリア（☞p.76）	□
測光方式	「📷撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した測光方式（☞p.77）	□
感度	「📷撮影機能」メニューの「感度」で設定した値（☞p.78）	□
露出補正	十字キー（◀▶）で設定した露出補正値（☞p.83）	□
ストロボ光量補正	「📷撮影機能」メニューの「ストロボ光量補正」で設定した光量補正値（☞p.71）	□
デジタルズーム	「📷撮影機能」メニューの「デジタルズーム」での設定（☞p.53）	☑
ディスプレイ	液晶モニタの表示モード（☞p.66、101）	□
ファイルNo.	ファイル番号。オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル名を使用します。	☑



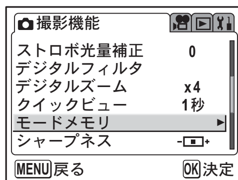
デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。



1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

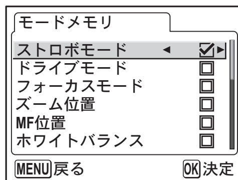
2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ



3 十字キー（▶）を押す

モードメモリメニュー画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ



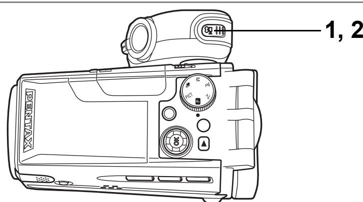
5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

4 静止画の撮影

動画を撮影する



動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1 撮影モードで🎥ボタンを押す

撮影が開始されます。
液晶モニタに次の情報が表示されます。
1 動画モードアイコン
2 録画中に点滅
3 撮影可能時間



ズーム/♠♠♠/♠ レバーを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠ ：被写体を拡大して写します。
♠♠♠：被写体を広い範囲で写します。



- 動画撮影時にズーム操作をしても液晶モニタにズームバーは表示されません。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、押している間だけ、フォーカスロックします。

2 🎥ボタンを押す

撮影が終了します。



- ボイスレコーディングモードからは動画モードに入れません。
- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画撮影の最長記録時間は120分です。
- 動画撮影中はセルフタイマーランプが点灯します。
- 動画撮影では、音声も同時に記録されますので、マイクやマイク側面の穴を指などでふさがないよう、ご注意ください。

動画を再生する☞p.103

🎥ボタンを押し続けて撮影する

🎥ボタンを1秒以上押し続けると、撮影を開始します。🎥ボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。🎥ボタンから指を離すと撮影が終了します。

ズームを使って動画を撮影するときには

ズームを使って動画を撮影する場合は、カメラをしっかりと構え、低速ズームを使って視野がゆっくり変化するようにカメラを操作してください。ズーム速度が速かったり、不安定な姿勢で撮影すると、再生したときに視野がゆれて見づらい映像となります。



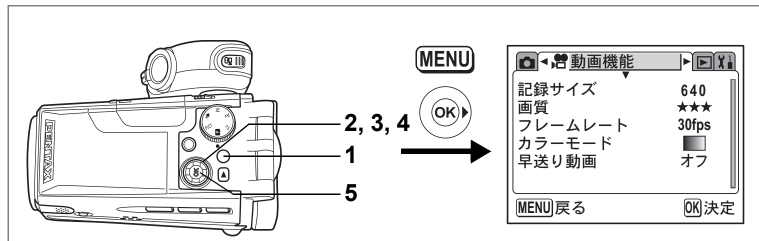
高倍率の撮影では、カメラぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。

動画撮影時の撮影範囲（ピントの合う範囲）

フォーカスモード	広角	望遠
オートフォーカス（ノーマル） マクロ スーパーマクロ	0.1m～∞	1.2m～∞
遠景	∞	∞
マニュアルフォーカス	0cm～∞	60cm～∞

ズームを使って撮影する☞p.52

カメラの構え方☞p.25





撮影色を設定して撮影する（カラーモード）

動画撮影時には、色フィルタを選んで撮影できます。通常のカラー撮影のほかに、白黒とセピアが選べます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

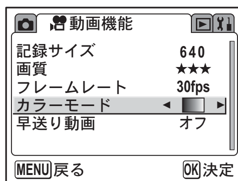
2 十字キー（◀▶）を押して「動画機能」メニューを選ぶ

3 十字キー（▲▼）を押して「カラーモード」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で色を選ぶ

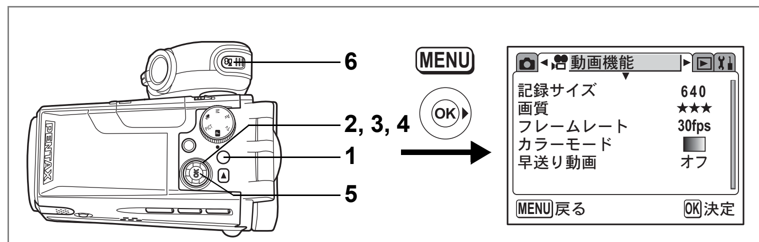
5 OKボタンを押す

カラーモードが変更され、動画が撮影できる状態になります。





静止画撮影用にはデジタルフィルタを使用します。（☞p.56）





早送り動画を撮影する

早送り動画を設定すると、フレームレート（1秒間に撮る画面数）を遅らせて動画を撮影します。撮影した動画は通常のフレームレートで再生されますので、被写体が早送りされているように見えます。例えば×2に設定すると、通常の半分のコマ数で撮影し、通常のコマ数で再生されますので、被写体は2倍のスピードで動きます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（◀▶）を押して「動画機能」メニューを選ぶ

3 十字キー（▲▼）を押して「早送り動画」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で、早送り倍率を切り替える



5 OKボタンを押す

撮影モードになります。

6 ボタンを押す

動画撮影を開始します。
液晶モニタには、早送りの設定が表示されます。



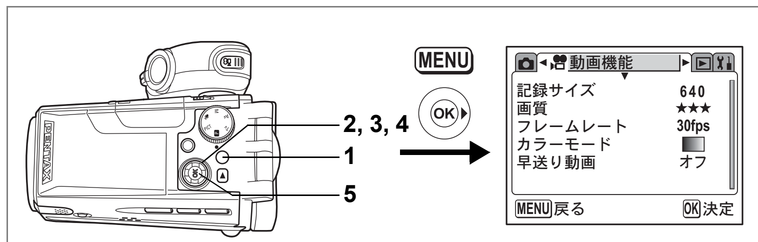


- フレームレートが30fpsのとき、「×2」、「×5」、「×10」、「×20」が選択できます。
- フレームレートが15fpsのとき、「×2」、「×5」、「×10」が選択できます。
- 早送り動画では撮影終了のタイミングによって、終了するのに時間がかかる場合があります。

動画撮影のための機能を設定する

動画撮影のための機能を設定します。
ただし、次の機能については、静止画撮影のための設定を使用します。
それぞれのページをご覧ください。

ホワイトバランスを調整する ☞p.74
測光方式を設定する ☞p.77
感度を設定する ☞p.78
シャープネスを設定する ☞p.80
彩度を設定する ☞p.81
コントラストを設定する ☞p.82
露出を補正する ☞p.83





動画の記録サイズを選択する

動画の記録画素数を「640×480」、「320×240」、「160×120」から選べます。画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。画像の容量は画質の設定（☞p.92）によっても異なります。

動画の記録サイズ

640（640×480）	VGAサイズです。テレビに接続しても高画質な映像を楽しめます。ファイルサイズは大きくなります。
320（320×240）	パソコンの画面で見るのに適しています。
160（160×120）	ファイルサイズは小さくなります。電子メールやホームページでの公開に適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

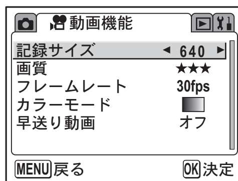
2　十字キー（◀▶）を押して「動画機能」メニューを選ぶ

3　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える

5　OKボタンを押す

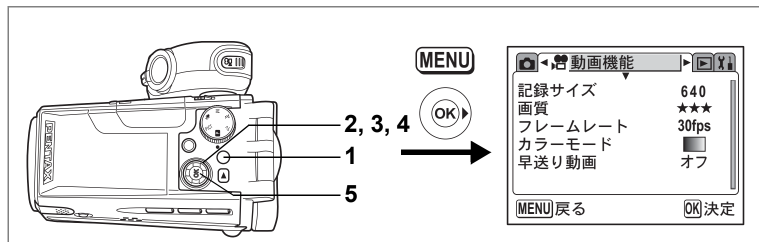
撮影ができる状態になります。





記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。

動画の記録サイズと画質☞p.21





動画の画質を選択する

★の数が多いほど、画質はきれいになり容量も増えます。画像の容量は、記録サイズの設定（☞p.91）によっても異なります。

動画の画質

★★★（S.ファイン）	テレビの画面で再生したときもきれいに見える高画質です。
★★（ファイン）	インターネットの高速回線で配信するのに向いています。
★（エコノミー）	電子メールへの添付に適しています。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

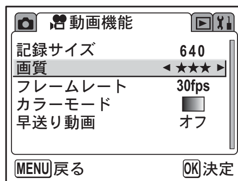
2 十字キー（◀▶）を押して「動画機能」メニューを選ぶ

3 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で画質を切り替える

5 OKボタンを押す

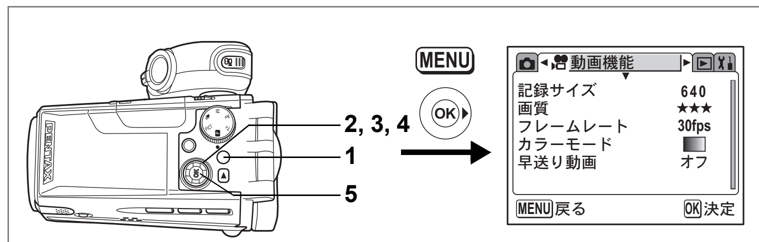
撮影ができる状態になります。





画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

動画の記録サイズと画質☞p.21





フレームレートを選択する

フレームレート（1秒間に撮る画面数）を設定します。フレームレートが大きければ、滑らかな画像になりますが、データ量が増えます。30fpsと15fpsが選べます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押して「動画機能」メニューを選ぶ

3　十字キー（▲▼）を押して「フレームレート」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で「30fps」と「15fps」を切り替える

5　OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

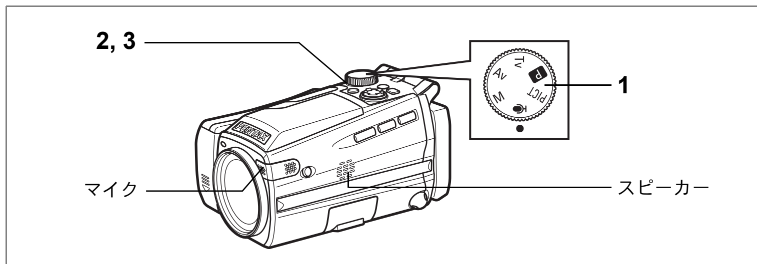


フレームレートの設定は、電源をオフにしても保持されます。

動画の記録サイズと画質☞p.21

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

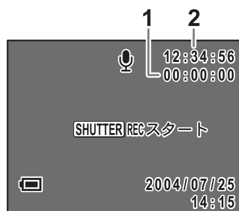
音声を記録します。



1 モードダイヤルを 🎙 に合わせて、電源スイッチを押す

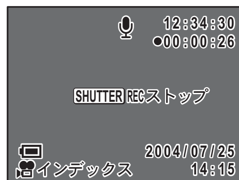
液晶モニタに録音可能な時間と、これから録音するファイルの録音時間が表示されます。

1 録音時間
2 残り録音可能時間



2 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプが点灯します。
シャッターボタンを1秒以上押し続けると、押している間だけ録音され、シャッターボタンを離すと録音を停止します。
録音中に🎥ボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。



3 シャッターボタンを押す

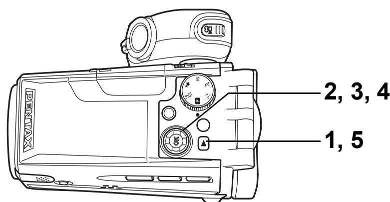
録音が終了します。



- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ正面のレンズ脇にあります。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- OK ボタンを押すと、液晶モニタの表示を消すことができます。もう一度OKボタンを押すと、再表示します。

音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。



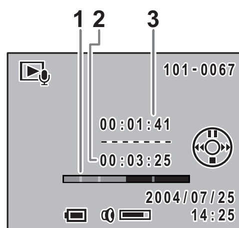
1 ▶ボタンを押す

2 十字キー（◀▶）で再生したい音声ファイルを選ぶ

3 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

1 インデックス位置
2 ファイルの総録音時間
3 再生済時間



再生中にできる操作

十字キー（▲）	再生を一時停止する もう一度押すと、再生を再開する
インデックスがない場合	
十字キー（◀）	約5秒前に戻る
十字キー（▶）	約5秒先に送る
インデックスがある場合	
十字キー（◀）	前のインデックス位置から再生
十字キー（▶）	次のインデックス位置から再生
ズーム/▦/🔍レバー（♠）	音量を大きくする
ズーム/▦/🔍レバー（♠♠♠）	音量を小さくする

4 十字キー（▼）を押す

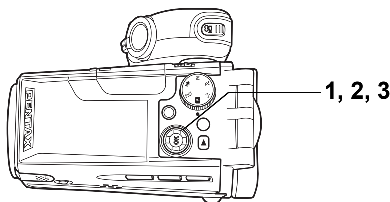
再生が停止します。

5 ▶ボタンを押す

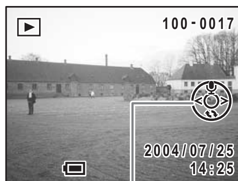
ボイスレコーディングモードに切り替わります。

画像に音声を付ける（ボイスメモ）

撮影した静止画像に音声（ボイスメモ）を付けることができます。



録音する



十字キー操作ガイド

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

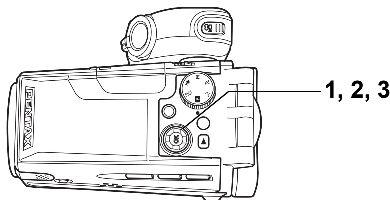
再生された画像にボイスメモが付いていなければ、液晶モニタの十字キー操作ガイドに🎙が表示されます。

2　十字キー（▲）を押す

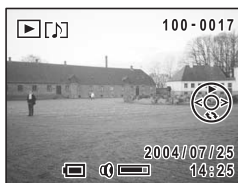
ボイスメモの録音を開始します。ボイスメモは最長30秒録音できます。

3　十字キー（▲）を押す

ボイスメモの録音が終了します。



再生する



1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

再生された画像に［♪］が付いていれば、ボイスメモが録音されています。

2　十字キー（▲）を押す

録音されたボイスメモが再生されます。

再生中にできる操作

ズーム/⊞/🔍レバー（♠）　音量を大きくする
ズーム/⊞/🔍レバー（♠♠♠）　音量を小さくする

3　十字キー（▲）を押す

ボイスメモの再生を停止します。

ボイスメモを消去する☞p.106

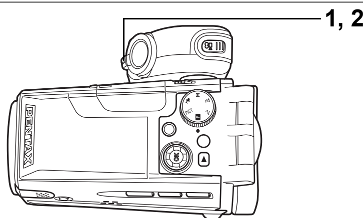


すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったんボイスメモを消去してから、もう一度録音してください。（☞p.106）



プロテクト（O┳）されている画像（☞p.108）にボイスメモを付けることはできません。

静止画を再生する



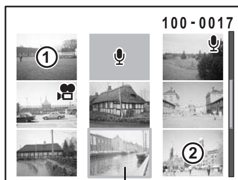
静止画を再生する

▶ボタンを押します。
操作方法は「画像を再生する」（p.34）をご覧ください。

9画像ずつ表示する

撮った画像を液晶モニタに同時に9枚ずつ表示できます。

1 再生モードで、ズーム/⊞/🔍 レバーを⊞側へ押す



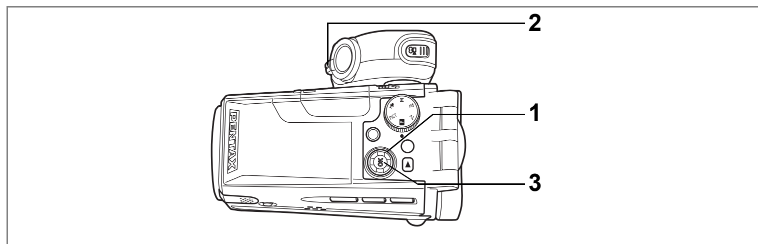
選択画像

画像が9コマずつ表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前の9画像が表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次の9画像が表示されます。
画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印	：ボイスメモなしの静止画
🎙（画像あり）	：ボイスメモ付きの静止画
🎥	：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
🎙（画像なし）	：録音のみのファイル

2 ズーム/⊞/🔍 レバーを🔍側へ押す

選択した画像が全画面表示されます。
OKボタンを押しても、選択した画像の全画面表示に戻れます。



拡大して再生する

再生する画像を最大12倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/Q レバーを Q 側に押す

画面が大きく（1.2倍～12倍）表示されます。押し続けると連続的に大きさが変わります。



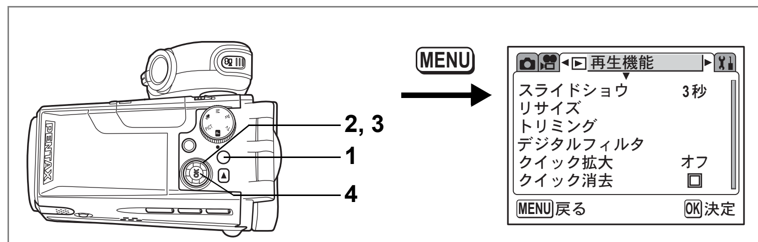
拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/⊞/Q レバー（♠）	画像を大きくする
ズーム/⊞/Q レバー（♠♠♠）	画像を小さくする

3　OKボタンを押す

拡大再生が終了します。

注意　動画は拡大表示できません。



クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズーム/⊞/🔍レバーを🔍側に1回押すだけで、画像を設定された倍率まで拡大できます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「クイック拡大」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で倍率を切り替える

×2.0～×12.0：ズーム/⊞/🔍レバーを🔍側へ1回押すと、設定された倍率まで一気に拡大し、その後は1段階ずつ拡大する。

オフ　：ズーム/⊞/🔍レバーを🔍側へ1回押すと、×1.2～×12.0の範囲で1段階ずつ拡大する。

4　OKボタンを押す

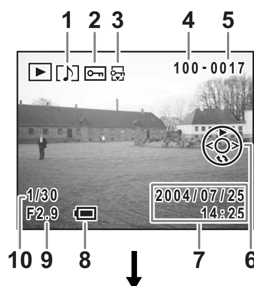
撮影または再生できる状態になります。

撮影時の情報を表示する

再生モード時にOKボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

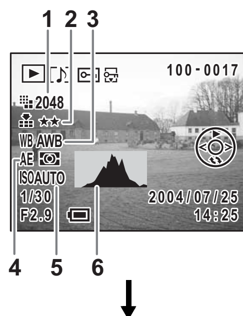
Norm.（通常表示）
撮影時の情報を表示します。

1 ボイスメモマーク　**2** プロテクトマーク
3 カード状態警告　**4** フォルダ名
5 ファイル名　**6** 十字キー操作ガイド
7 撮影日時　**8** バッテリー残量表示
9 絞り値　**10** シャッター速度



H+inf（ヒストグラム表示）
画像の明度分布を表示します。ヒストグラムの横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 記録サイズ　**2** 画質
3 ホワイトバランス　**4** 測光方式
5 感度　**6** ヒストグラム

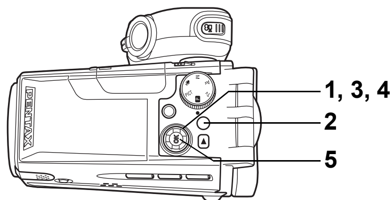


Frame（情報表示なし）
撮影情報を表示しません。



Norm.（通常表示）

液晶モニタの表示モードを保存する☞p.84



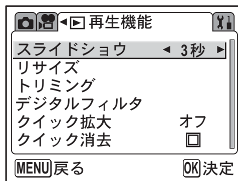
スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　MENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。



3　十字キー（▲▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で再生間隔を切り替える

3秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒から選択できます。

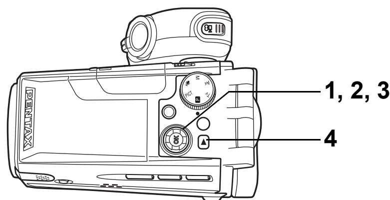
5　OKボタンを押す

「スタート」と表示され、設定した時間間隔でスライドショウが始まります。
OKボタン、MENUボタンなどどれかのボタンを押すと「ストップ」と表示され、スライドショウが停止します。



- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで何度でも繰り返します。
- 動画とボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらず、すべて再生されてから次の画像に移ります。
- 動画とボイスメモ付き画像の場合、再生中に十字キー（▶）を押すと、次の画像へ移ります。
- ボイスレコディングモードで録音した音声は、再生されません。

動画を再生する



動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。音声も同時に再生されます。



1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

再生中にできる操作

十字キー（◀）	逆方向に再生する（5秒ごとの早送りです。）
十字キー（▶）	順方向に再生する（5秒ごとの早送りです。）
十字キー（▲）	一時停止する
ズーム/▦/🔍レバー（♠）	音量を大きくする
ズーム/▦/🔍レバー（♠♠♠）	音量を小さくする

一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	コマ戻しする（コマ戻しは 15 フレームごとの早送りです。）
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）

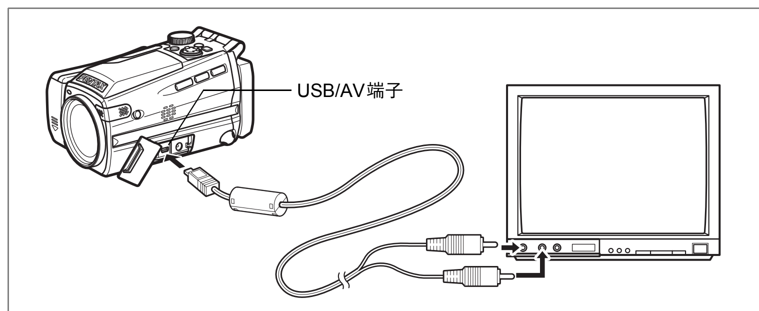
3　十字キー（▼）を押す

再生が停止し、再生開始画面に戻ります。

4　▶ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

テレビで静止画／動画を見る



AVケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1　端子カバーを開き、USB/AV端子にAVケーブルを接続する

2　AVケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

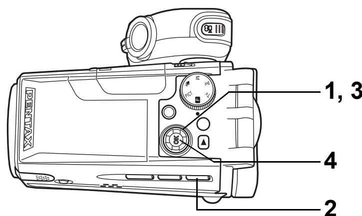
3　テレビとカメラの電源を入れる



- 長時間使用するときは、ACアダプタキットK-AC7J（別売）の使用をおすすめします。
- ビデオの出力方式は国や地域によって違います。うまく映らないときは、ビデオの出力方式を確認してください。テレビなど接続する機器の使用説明書もご覧ください。

ビデオの出力方式を選択する☞p.129

消去する



1画像、1音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

注意
- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像は消去できません。（☞p.108）

1　再生モードに入り、十字キー（◄►）で消去したい画像または音声を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。



3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

消去されます。



「▶ 再生機能」メニューの「クイック消去」を☑（オン）に設定すると手順3の操作を省略することができます。（☞p.106）

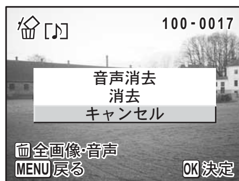
ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

2 🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。



3 十字キー（▲▼）で「音声消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

ボイスメモが消去されます。



画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

クイック消去を☑（オン）／□（オフ）する

クイック消去を☑（オン）に設定すると、消去画面が表示されたとき、「消去」が選択された状態になり、消去手順が簡単になります。

1 再生モードでMENUボタンを押す

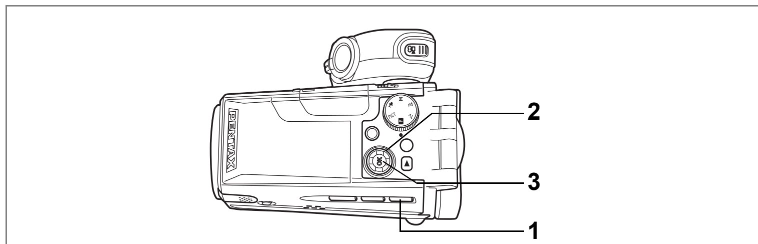
「▶再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「クイック消去」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を設定する

4 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



まとめて消去する

保存されている全画像、全音声を消去します。



- 消去した画像は復元ができません。
- プロテクトされている画像や音声は消去できません。

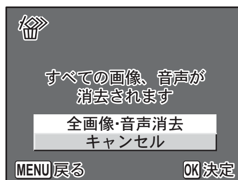
1　再生モードで 🗑 ボタンを2回押す

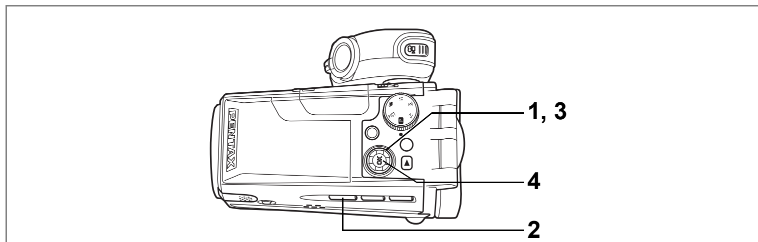
全画像・音声消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像・音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

全画像、全音声が消去されます。





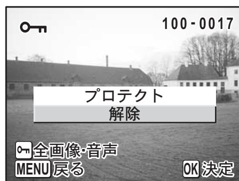
消去できないようにする（プロテクト）

画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像または音声を選ぶ

2 O━ボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。



3 十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

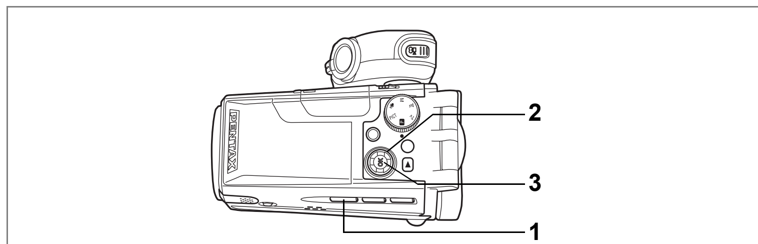
4 OKボタンを押す

選択した画像がプロテクトされます。



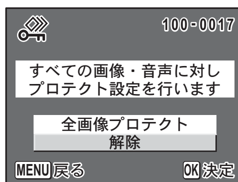
- プロテクトを解除するには、3で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像や音声には、再生時にO━が表示されます。

7 静止画／動画の再生・消去



全ての画像と音声をプロテクトするには

全ての画像と音声をプロテクトすることができます。



1　再生モードでO‑nボタンを2回押す

全画像・音声プロテクト画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像プロテクト」を選ぶ

3　OKボタンを押す

全画像、全音声がプロテクトされます。

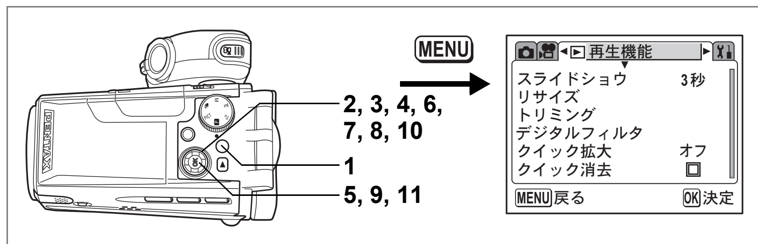


2で「解除」を選ぶと、全画像、全音声のプロテクト設定が解除されます。



プロテクトされた画像や音声もSDメモリーカードをフォーマットすると消去されます。

静止画を編集する



画像のサイズと画質を変更する（リサイズ）

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。SDメモリーカードがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、撮影を続けることができます。

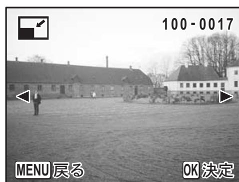
1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

リサイズ画面が表示されます。



4　十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

5　OKボタンを押す

サイズと画質の選択画面が表示されます。

6 十字キー（◀▶）で記録サイズを変更する



7 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

8 十字キー（◀▶）で画質を変更する

9 OKボタンを押す

10 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

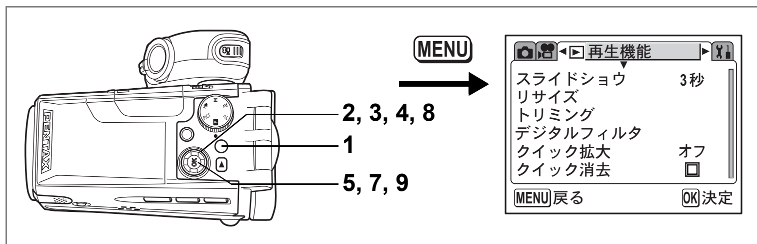


11 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。



- 動画はリサイズできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。



画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1 再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「トリミング」を選ぶ

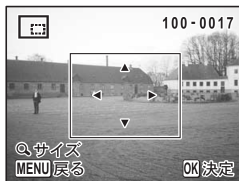
3 十字キー（▶）を押す

トリミングできる画面が表示されます。

4 十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

5 OKボタンを押す

トリミング画面が表示されます。



6 トリミング条件を選ぶ

トリミング画面でできる操作

ズーム/▣/Qレバー	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENUボタン	トリミングする画像を選択する画面に戻る

7 OKボタンを押す

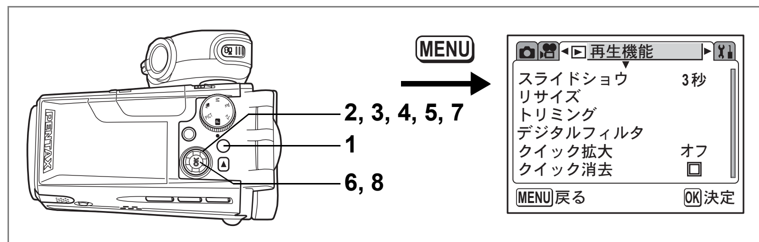
8 十字キー（▲▼）で、「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9 OKボタンを押す

トリミングされた画像が保存されます。



- 動画はトリミングできません。
- トリミングサイズに応じた画像サイズで保存されます。



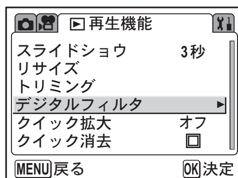
デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルタには、白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄の8種類の色フィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して画像を編集できます。液晶モニタにはそれぞれのデジタルフィルタの効果がかかった画像が表示されます。

1 再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルフィルタ」を選ぶ



3 十字キー（▶）を押す

デジタルフィルタが設定できる画像が表示されます。



4 十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

5 十字キー（▲▼）でデジタルフィルタを選ぶ

6 OKボタンを押す

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

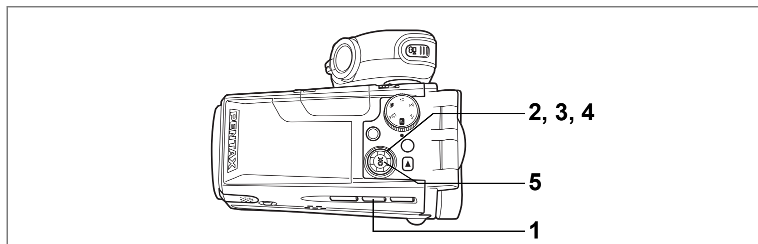


8 OKボタンを押す

デジタルフィルタで編集された画像が保存されます。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



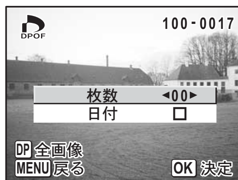
1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
枚数：プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付：プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードでDPOFボタンを押す

2　十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選び、十字キー（▼）を押す

選択枠が「枚数」に移動します。



3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。



4　十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑　：プリントに日付を入れる
□　：プリントに日付を入れない

5　OKボタンを押す

設定した値でプリント設定されます。

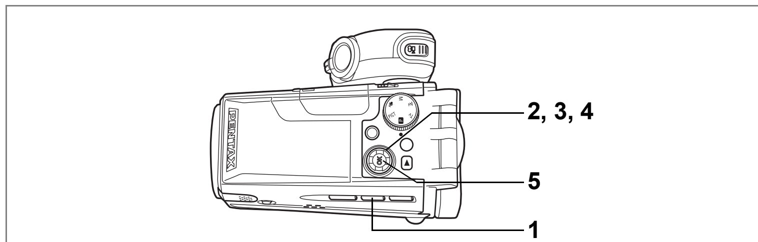
8
静止画の編集・印刷



- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。



- 動画や音声のみのファイルには、DPOFを設定することはできません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしてもプリントに日付が写し込まれない場合があります。

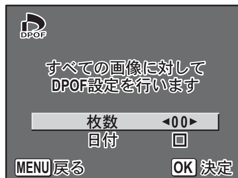


全画像を設定する

1　再生モードでDPOFボタンを2回押す

2　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。



3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

4　十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定する

☑　：プリントに日付を入れる
□　：プリントに日付を入れない

5　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。



全画像設定でプリント枚数の指定をすると､すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。



- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 動画や音声のみのファイルにはDPOF設定できません。

カメラを直接プリンタにつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB17）で、カメラをPictBridge対応プリンタに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラ側で設定します。

注意
- カメラをプリンタに接続するときは、ACアダプタキットK-AC7J（別売）のご使用をおすすめします。プリンタと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンタが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。
- プリンタの種類によっては、カメラ側の設定（画質、DPOFの設定など）が一部しか反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、カメラを直接PictBridge対応のプリンタと接続してプリントするときに、正しくプリントされないことがあります。
- プリントサイズの設定はカメラではできません。プリンタ側で設定してください。詳しくはプリンタの使用説明書をご覧ください。

カメラをプリンタに接続する

1 「詳細設定」メニューの「USB接続」で「PictBridge」を選ぶ

「USB接続モードを変更する」（p.130）をご覧ください。

2 カメラを付属のUSBケーブルでプリンタに接続する

PictBridgeメニュー画面が表示されます。



注意
「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。

1画像ずつプリントする

1　PictBridge メニュー画面で十字キー（▲▼）を押して「1画像印刷」を選ぶ。



2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ



4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定ができます。

5　▶ボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑　：プリントに日付を入れる
□　：プリントに日付を入れない

6　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

全画像をプリントする

1　PictBridgeメニュー画面で十字キー（▲▼）を押して「全画像印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。



3　十字キー（▲▼）を押してプリントする枚数を選ぶ

全画像を何枚ずつプリントするかを選びます。

4　▶ボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑　：プリントに日付を入れる

□　：プリントに日付を入れない

5　OKボタンを押す

設定した条件で全画像がプリントされます。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　PictBridgeメニュー画面で十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定を確認できます。



3　OKボタンを押す

選んだ画像に設定されているプリントサービスの設定内容でプリントされます。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。



印刷中は、セルフタイマーランプが点灯して通信中であることをお知らせします。

プリンタからカメラを取り外す

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

1　カメラからUSBケーブルを取り外す

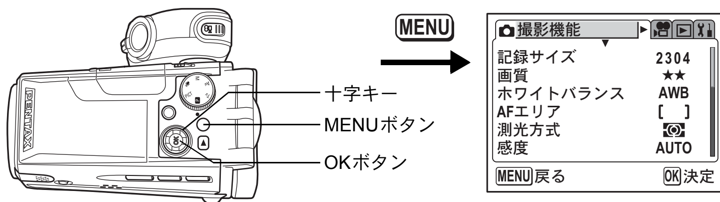
2　プリンタからUSBケーブルを取り外す



カメラからUSBケーブルを取り外すと、カメラは自動的に電源オフになります。

カメラの設定をする

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。

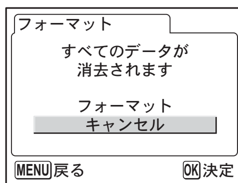
注意

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずこのカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

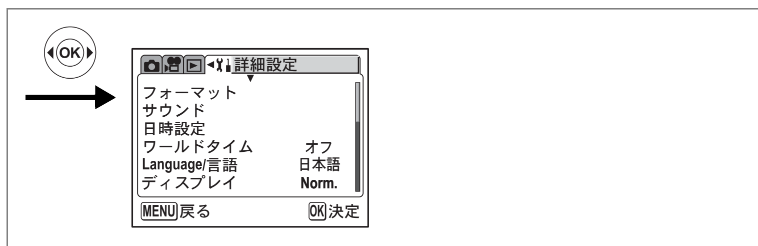
フォーマット画面が表示されます。



3 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。



サウンドの設定を変更する

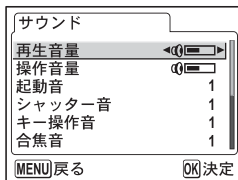
音声の再生音量や、操作音（起動音、シャッター音、ボタンの操作音など）の音量、それぞれの音の種類を変更できます。

再生音量、操作音量を変更する

1 「詳細設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

サウンド画面が表示されます。



3 十字キー（▲▼）を押して「再生音量」または「操作音量」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）を押して音量を切り替える

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

音の種類を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で「オフ」「1」「2」「3」のいずれかを選ぶ

「シャッター音」「キー操作音」「合焦音」「セルフタイマー音」も同様に選びます。

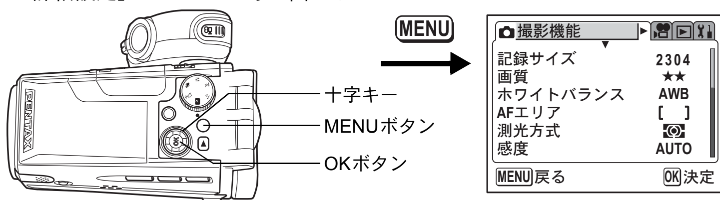
5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。



サウンドの設定は、電源をオフにしても保持されます。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた



日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1 「🔧詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。
日時の設定方法は「日時を設定する」(p.30) をご覧ください。

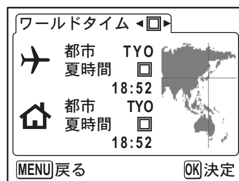
ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」(p.30) で設定した日時は、ホームタイム（通常使用する国や地域の日時）として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国や地域の日時を表示できます。

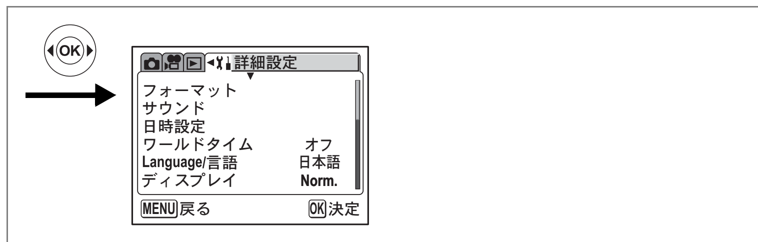
1 「🔧詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。



9
設定



3 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

☑ ：ワールドタイムで選択した国や地域の時刻表示になります。

□ ：ホームタイムで選択した国や地域の時刻表示になります。

4 十字キー（▼）を押す

ワールドタイムの対象地域には、はじめは東京が選択されています。このとき、世界地図上の東京の位置を表示し、✈には東京の記号名「TYO」と東京の時刻が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で ✈（ワールドタイム）の都市を選び、十字キー（▼）を押す

6 十字キー（◀▶）で「夏時間」の☑（オン）／□（オフ）を切り替え、十字キー（▼）を押す

⌂（ホームタイム）の設定が選択されます。
⌂（ホームタイム）の対象地域には、はじめは「TYO（東京）」が設定されています。
十字キー（◀▶）で⌂（ホームタイム）の「都市」や、「夏時間」のオン／オフを変更できます。

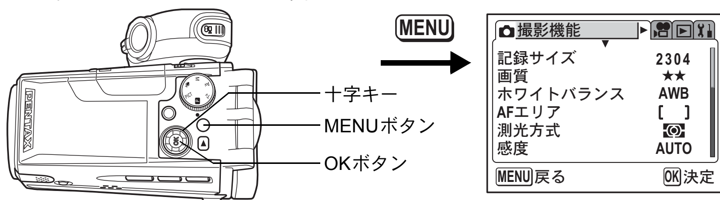
7 OKボタンを2回押す

設定した都市の日時で、撮影または再生できる状態になります。



指定できる都市および都市の記号名については、p.134をご覧ください。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた



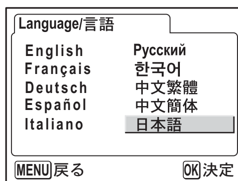
表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語（繁体字/簡体字）／日本語の9言語に対応しています。

1 「🔧詳細設定」メニューの「Language/言語」を 選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

Language/言語 画面が表示されます。



3 十字キー（▲▼）で言語を選ぶ

4 OKボタンを 2 回押す

撮影または再生できる状態になります。

ディスプレイモードを変更する

撮影中、あるいは再生中に液晶モニタに表示される情報を切り替えます。

1 「🔧詳細設定」メニューの「ディスプレイ」を選ぶ

2 十字キー（▲▼）で「Norm.」「H+inf」「Grid」「Frame」を選ぶ

それぞれのときの状態は、p.66、p.101を参照してください。

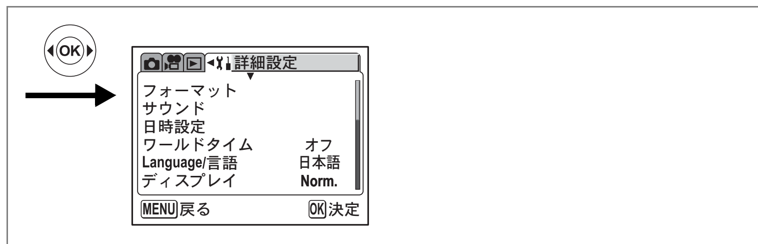
Norm. ：通常表示
H+inf ：ヒストグラム表示
Grid ：グリッド表示 再生モードでは通常表示
Frame ：表示情報なし

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



動画再生時の表示情報は切り替えられません。



背景色／画面効果を変更する

1 「✗ⅰ詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

画面設定画面が表示されます。

画面効果機能を使う

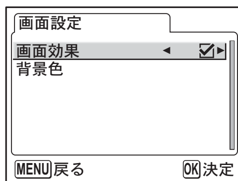
☑（オン）を選ぶと液晶モニタの画像を切り替えるときに割り込みなどのアニメーション効果で表示させることができます。

3 十字キー（▲▼）で「画面効果」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。



背景色を設定する

液晶モニタに表示されるメニュー画面の背景色を設定します。

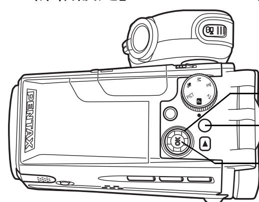
3 十字キー（▲▼）で「背景色」を選ぶ

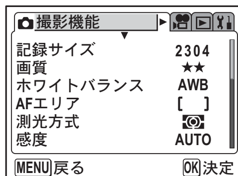
4 十字キー（▶）でサブメニューを開き、十字キー（▲▼◀▶）で背景色を選ぶ

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





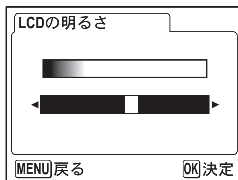
液晶モニタの明るさを設定する

液晶モニタの明るさを設定できます。

1 「詳細設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

LCDの明るさ調整画面が表示されます。

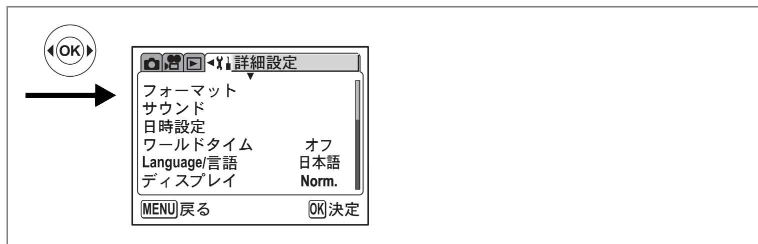


3 十字キー（◀ ▶）で明るさを調整する

バーのスライダーが左に移動すると暗くなり、右に移動すると明るくなります。

4 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。



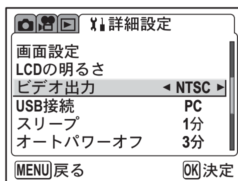
ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「NTSC」「PAL」を切り替える

モニタするテレビの出力方式に合わせて選択します。



3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

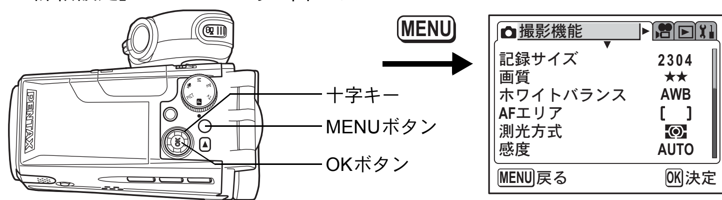


日本国内では、NTSC方式です。

テレビで静止画／動画を見る☞p.104

9 設定

「 詳細設定」メニューの呼び出しかた

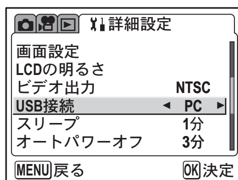


USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先（プリンタもしくはパソコン）に応じてUSB接続モードを切り替えます。

1 「 詳細設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「PC」「PictBridge」「PC-F」を切り替える



「PictBridge」：PictBridge対応のプリンタに直接接続する場合に選択します。
「PC」：パソコンに接続する場合に選択します。
「PC-F」：「PC」に設定してデータ転送がうまくいかない場合に選択します。

3 OKボタンを押す

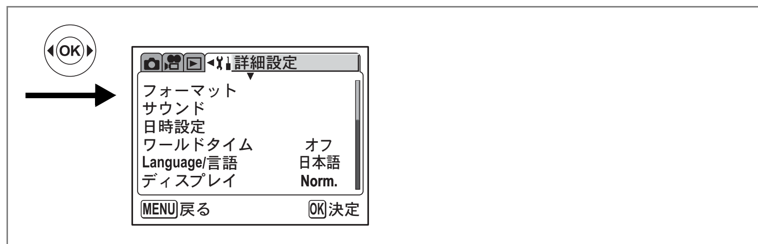
パソコンまたはプリンタに接続できる状態になります。

注意

- 「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。
- 「USB 接続」で「PC」または「PC-F」に設定したままカメラをプリンタに接続しないでください。

メモ

- パソコンとの接続については、別冊の『PC活用編 デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむには』を参照してください。
- PC とカメラの接続状態によっては画像などが正しく転送されないことがあります。その場合は「PC-F」を選択してください。（「PC-F」ではデータ転送がUSBフルスピード固定になります）



スリープを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定します。スリープ中に電源スイッチ以外のボタンを押すと、スリープ前の状態に戻ります。

1　「詳細設定」メニューの「スリープ」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「30秒」「1分」「2分」「オフ」のいずれかを選ぶ

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



スライドショウで再生しているときや、動画再生中はスリープは働きません。

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1　「詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替える

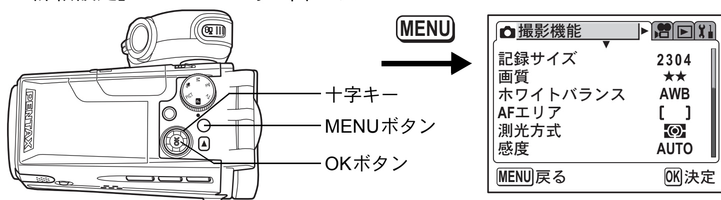
3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



スライドショウで再生しているときや、動画再生中は、オートパワーオフは働きません。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた

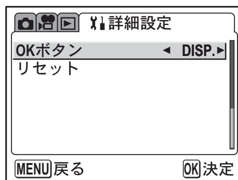


OKボタンの機能を設定する

OKボタンにはディスプレイモードの選択機能、または静止画撮影用のデジタルフィルタが設定できます。初期設定ではディスプレイモードの選択機能が設定されています。

1 「🔧詳細設定」メニューの「OKボタン」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「DISP.（ディスプレイ）」、「FILT.（フィルタ）」、「NON（なし）」を選ぶ



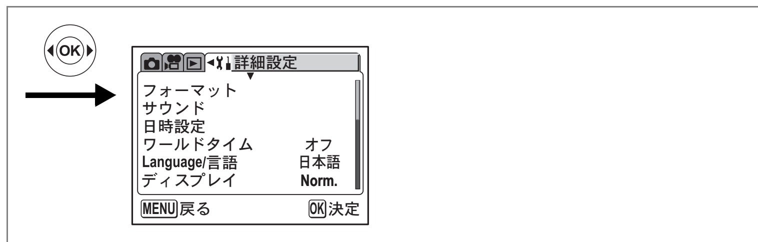
3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

撮影情報を確認する☞p.66

撮影時の情報を表示する☞p.101

色フィルタを設定して撮影する☞p.56



設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ワールドタイム以外の設定内容をすべてご購入時の状態に戻します。

1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

TYO	東京	JNB	ヨハネスブルグ
GUM	グアム	IST	イスタンブール
SYD	シドニー	CAI	カイロ
NOU	ヌーメア	JRS	エルサレム
WLG	ウェリントン	MOW	モスクワ
AKL	オークランド	JED	ジッダ
PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ワイドコンバージョンレンズ L-WC17（☞p.65）

ACアダプタキット K-AC7J

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI7（※）

バッテリー充電器キット K-BC7J（※）
（バッテリー充電器D-BC7、ACコードD-CO2Jのセット）

電源キット K-D17J（※）
（充電式リチウムイオンバッテリー D-LI7、バッテリー充電器D-BC7、ACコードD-CO2Jのセット）

USBケーブル I-USB17（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

ストラップ O-ST17（※）

カメラケース O-CC17

キャリングケース O-CC172

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

画像・音声がありません	SDメモリーカードに再生できる画像が保存されていません。
空き容量がありません	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.18、p.105） 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.110）
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.122）
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.19）
記録中です	画像をSDメモリーカードに記録しています。
	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
	動画を記録しています。
この画像・音声を再生できません	このカメラでは再生できない画像または音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
消去中です	画像を消去しています。
電池容量がなくなりました 画像を保存できませんでした	電池残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください。（p.15）
フォーマット中	SDメモリーカードをフォーマット中です。
フォルダが作成できません	最大のフォルダNo.で最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。（p.122）
この画像・音声はプロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンタの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンタのインクがない場合に表示されます。
プリンタエラーです	接続したプリンタでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンタからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンタで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。(p.15)
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
	単3電池が入っている	単3電池は使えません。D-LI7を使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	USBケーブルでパソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボが充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。
	SDメモリーカードに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.18、105)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。ピクチャーモードの[夜景ポートレート]にセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。(p.50)

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の[ ]（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷またはs🌷にセットしてください。（p.68）
	フォーカスモードが🌷またはs🌷になっている	フォーカスモードが🌷またはs🌷にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボがたたまれている	⚡OPENボタンを押して、ストロボをポップアップしてください。
	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは⚡に設定してください。（p.70）
	• 動画モード • ドライブモードが⧉またはHS⧉ • フォーカスモードが▲またはs🌷	これらのモードではストロボは発光しません。
ズームが動かない	フォーカスモードがs🌷にセットされている	スーパーマクロモードではズームは作動しません。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	PictBridgeモードになっている	カメラのUSB接続モードを「PC」に切り替える。（p.130）
	USBデータ転送でエラーが発生している	カメラのUSB接続モードを「PC-F」に切り替える。（p.130）

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	400万画素	
撮像素子	総画素数423万画素、 原色フィルタ／インターライントランスファー 1/2.7型CCD	
記録画素数	静止画	2304×1728、1600×1200、1024×768、640×480（ピクセル）
	動画	640×480、320×240、160×120（ピクセル）
感度	オート、マニュアル（100/200/400：標準出力感度）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	MOV（MPEG-4準拠）、ストリーミング記録、 約30フレーム／秒、約15フレーム／秒、PCM方式、モノラル
	音声	ボイスメモ、ボイスレコード：WAVADPCM方式、モノラル
画質	静止画 動画	★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー） ★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー）
記録媒体	SDメモリーカード	

撮影枚数と時間（64MBのSDメモリーカードを使用した場合）

静止画

記録サイズ	画質		
	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
2304（2304×1728）	約24枚	約47枚	約69枚
1600（1600×1200）	約51枚	約89枚	約123枚
1024（1024×768）	約112枚	約202枚	約257枚
640（640×480）	約241枚	約386枚	約483枚

動画

記録サイズ	画質		
	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
640（640×480）	約2分30秒（約5分）	約4分（約7分）	約5分（約9分）
320（320×240）	約6分（約11分）	約9分（約16分）	約16分（約25分）
160（160×120）	約16分（約25分）	約20分（約31分）	約31分（約42分）

上段：30フレーム／秒（fps）の場合
下段：15フレーム／秒（fps）の場合

音声　約4時間22分

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.8mm～58mm （35mmフィルム換算：37～370mm相当）
	最大F値	F2.9～F3.5
	レンズ構成	8群12枚（両面非球面レンズ1枚、片面非球面レンズ1枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	21.2mm×15.5mmを画面一杯に撮影可能 （スーパーマクロモード）
	フィルタ取り付けネジ有り（37mm）、レンズキャップ付き	
デジタルズーム	撮影時	最大約10倍（光学10倍ズームと合わせ、最大約100倍ズーム相当のズーム倍率）
液晶モニタ	1.8型CGシリコンTFTカラーLCD（微反射型）、明るさ調整付、約13.4万画素（バックライト付）、上下210度、左右180度回転機構付	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大12倍まで、スクロール可）、スライドショウ、リサイズ、トリミング、ムービー再生、ヒストグラム表示、回転表示、デジタルフィルタ	

オートフォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 5点マルチ／スポット切替
	撮影範囲 （レンズ前面から）	静止画撮影時【広角】【望遠】／動画撮影時【広角】【望遠】 オートフォーカス（ノーマル）：0.4m～∞　1.2m～∞　0.1m～∞　1.2m～∞ マクロ：0.1m～0.5m　0.6m～1.5m　0.1m～∞　1.2m～∞ スーパーマクロ：0cm～15cm　---　0.1m～∞　1.2m～∞ 遠景：∞　∞　∞　∞
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0cm～∞（広角時）、60cm～∞（望遠時）	
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出補正	±2EV（1/4EVステップで設定可能）
	露出モード	ピクチャーモード、プログラム、シャッター優先、絞り優先、マニュアル
ピクチャーモード	風景、花、ポートレート、スポーツ、夕景、夜景、サーフ＆スノー、ソフト、イラスト、パノラマ	
デジタルフィルタ	白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄	
オートブラケット	露出、ホワイトバランス、彩度、シャープネス、コントラスト	
動画	撮影時間	連続録画時間最大約120分 （SDメモリーカードの容量による）
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒（マニュアル露出、シャッター優先露出時は約1/1000秒～）
ストロボ	型式	赤目軽減機能付リトラクタブルストロボ
	発光モード	オート（低照度時）、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	撮影範囲	ワイド　約0.1m～約5.1m（ISO200相当） テレ　約0.6m～約3.8m（ISO200相当）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、高速連写、10秒セルフタイマー撮影、2秒セルフタイマー撮影、オートブラケット（露出、ホワイトバランス、彩度、シャープネス、コントラスト）	
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	専用リチウムイオンバッテリー D-LI7、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命 （撮影可能枚数）	約180枚	（ストロボ使用率50％、23℃、専用バッテリー D-LI7 フル充電時） ※撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安です。
入出力ポート	USB／ビデオ端子（PC通信方式USB2.0）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC／PAL（モノラル音）	
PictBridge	対応プリンタ	PictBridge対応のプリンタ
	印刷モード	1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷
大きさ	73（幅）×59（高）×103.5（厚）mm（操作部材を除く）	
質量	330g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	375g（D-LI7、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電器、USBケーブル、AVケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、レンズキャップ、使用説明書	

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付
TEL 0120-737-919（フリーダイヤル）
TEL 03-3975-4314（携帯・PHS用）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く9：00～17：00）

インターネット受付
URL：http://www.pentax.co.jp/japan/support/

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）

〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間午前 9：00 ～午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



ナビダイヤル 0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）
携帯電話、PHS の方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎**03-3960-3200**（代） ☎**03-3960-0887** デジタルカメラ専用

［ショールーム・写真展・修理受付］

ペンタックスフォーラム ☎**03-3348-2941（代）**
〒163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）
営業時間午前 10：30 ～午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

［修理受付］

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 ☎**011-612-3231（代）**
〒060-0010 札幌市中央区北 10 条西 18-36 ペンタックス札幌ビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 ☎**022-371-6663（代）**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル 5 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 ☎**052-962-5331（代）**
〒461-0001 名古屋市東区泉 1-19-8 ペンタックスビル 3 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 ☎**06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 ☎**082-234-5681（代）**
〒730-0851 広島市中区榎町 2-15 榎町ビュロー 1 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 ☎**092-281-6868（代）**
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ］

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター ☎**03-3975-4341（代）**
〒175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター ☎**06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57433 01-200408
Printed in Philippines